PIXUS MP450

操作ガイド

～本体操作編～

使用説明書

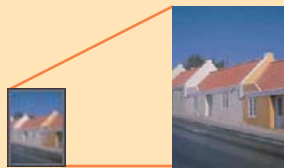
ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

J QT7-0032-V07

本機でできるいろいろなコピー

拡大・縮小コピー

印刷手順については、本書26ページをご覧ください。

ズーム（25%～400%）の他に、等倍、定型変倍、用紙に合わせて自動変倍が選べます。

絵はがき風コピー

印刷手順については、本書29ページをご覧ください。

全面 フチあり
全面 フチなし

半分 フチあり
半分 フチなし

シール紙コピー

印刷手順については、本書30ページをご覧ください。

2面
4面

9面
16面

フチなし／フチありコピー

印刷手順については、本書31ページをご覧ください。

フチなし
フチあり
用紙サイズ：　レターサイズ、A4、L判、2L判、はがき、カード、名刺

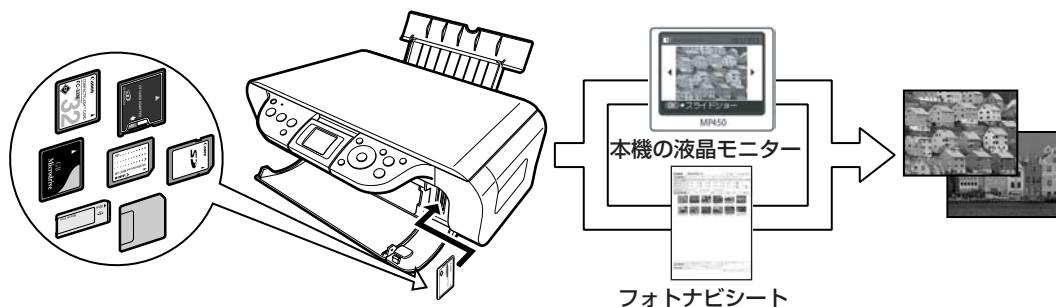
繰り返しコピー

印刷手順については、本書32ページをご覧ください。

2x3（6面）
4x3（12面）

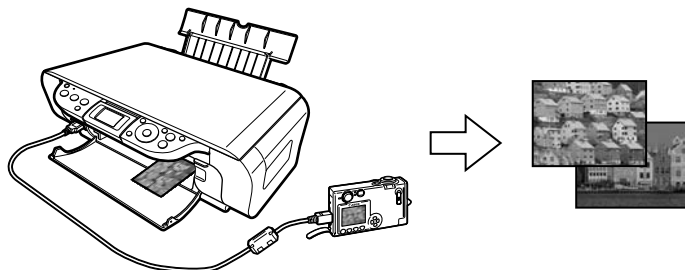
他にも以下の設定ができます。
自動レイアウト、1面、2面、3面、4面、8面、9面、16面

メモリーカードの写真を印刷したい

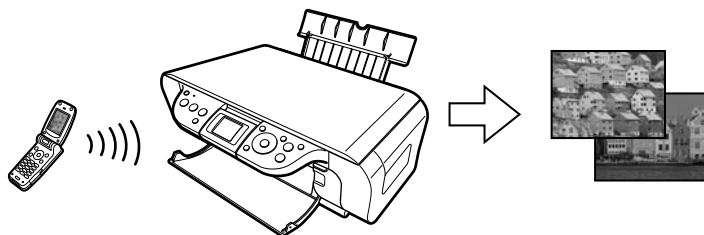
メモリーカードを本機にセットし、液晶モニターで確認しながら印刷したり、フォトナビシートを使って、かんたんに焼き増しすることができます。

➔「メモリーカードから印刷してみよう」（P.33）

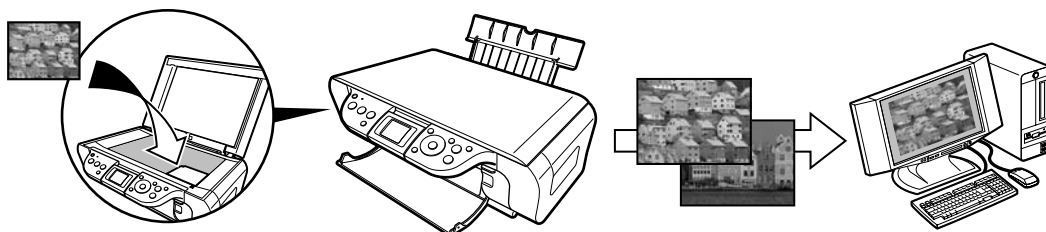
デジタルカメラで撮った写真を印刷したい

本機に対応のデジタルカメラを接続すれば、カメラの操作でかんたんに印刷することができます。

➔「デジタルカメラと直接つないで印刷してみよう」（P.48）

携帯電話で撮った写真をかんたんに印刷したい

赤外線通信や Bluetooth に対応した携帯電話から、撮影した写真をワイヤレスで印刷することができます（Bluetooth 通信はオプション）。

➔「ワイヤレス通信で印刷してみよう」（P.56）

イラストなどを読み込んでパソコンに保存したい

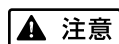
残しておきたいイラストなどをパソコンに読み込んで（スキャンして）、データとして保存することができます。

➔『操作ガイド（パソコン操作編）』の「画像を読み込もう」

■PIXUS MP450　目次

困ったときには

記号について

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

ごあいさつ

このたびは、キヤノン《PIXUS MP450》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、ご使用の前に使用説明書をひととおりお読みください。
また、お読みになったあとは、必ず保管してください。操作中に使いかたがわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ及び複合機（コンセントから電力を供給されるものに限る）で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

Exif Print について

本機は、「Exif Print」に対応しています。
Exif Print は、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。
Exif Print 対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

商標について

- Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の地域における登録商標です。
- Macintosh、および Mac は、アップルコンピューター社の米国およびその他の地域における登録商標です。
- SmartMedia、およびスマートメディアは、（株）東芝の商標です。
- メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo は、ソニー（株）の商標です。
- xD-Picture カードは、富士写真フイルム（株）の商標です。
- マルチメディアカードは、Infineon Technologies AG の商標です。
- SD カード、および miniSD カードは、SD Association の商標です。
- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCF ロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- IrDA は、Infrared Data Association の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの商標です。

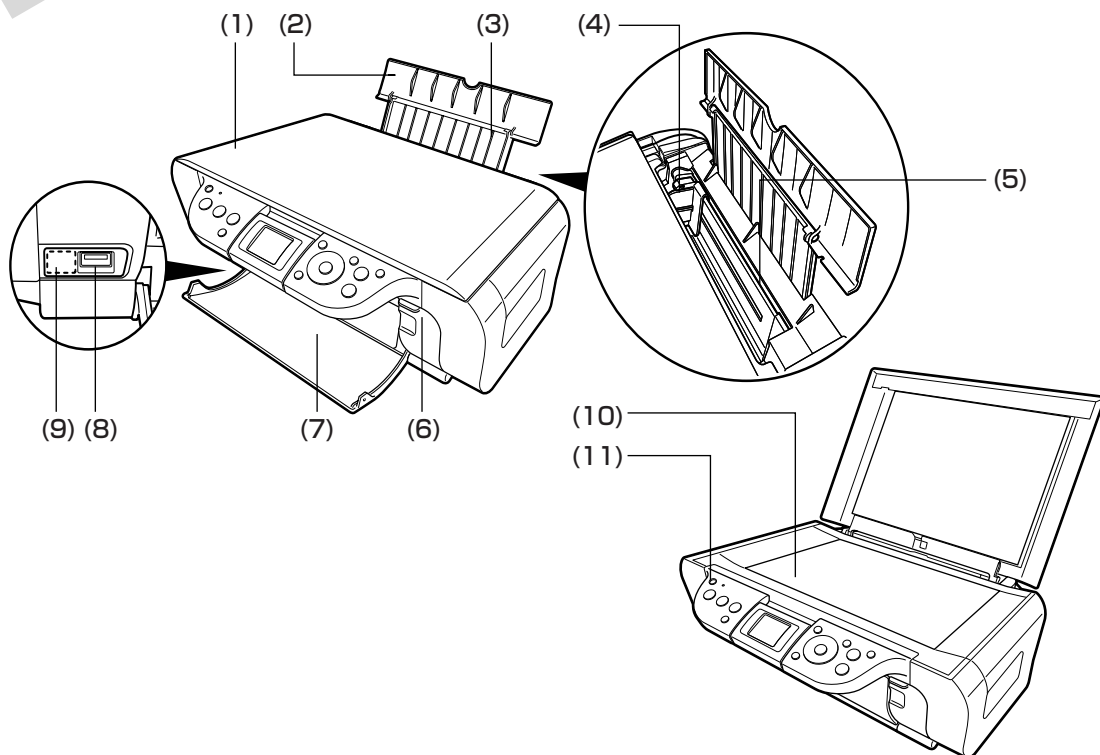
お客様へのお願い

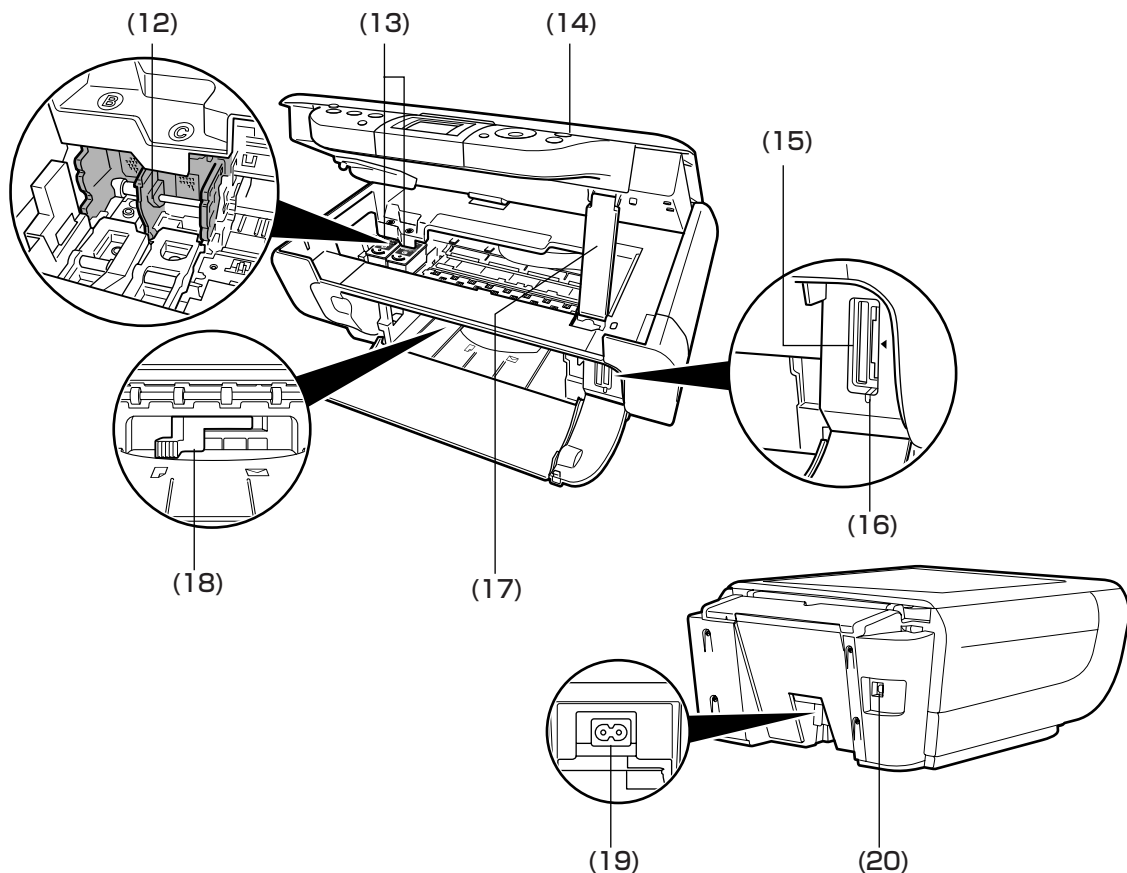
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、最寄りのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
  連絡先は、別紙の『サービス & サポートのご案内』に記載しています。
- 本機を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

各部の名称とメニュー項目について

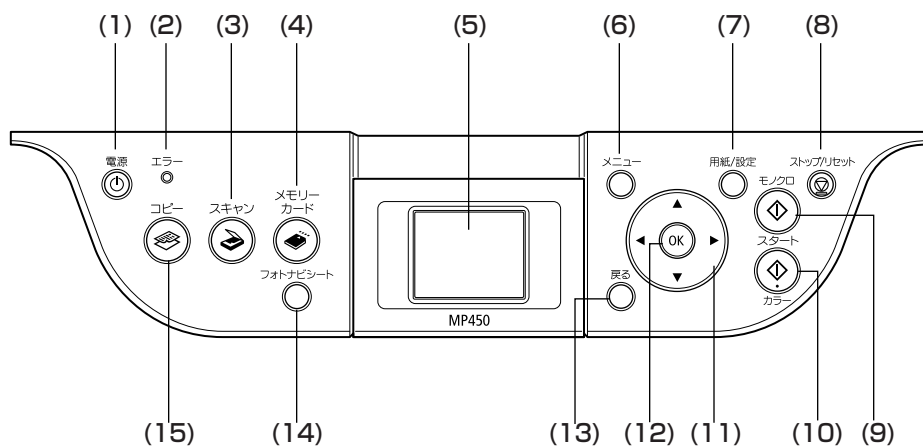
各部名称と役割、メニューの表示方法と各メニュー項目について説明します。

各部の名称について

■ 外観

(1)	**原稿台カバー**	原稿台ガラスに原稿をセットするときに開けます。
(2)	**用紙サポート**	セットした用紙を支えます。印刷する前に開いてください。
(3)	**補助サポート**	セットした用紙を支えます。用紙をセットする前に、止まるまで引き出してください。
(4)	**用紙ガイド**	用紙をセットしたときに、つまんで動かし、用紙の左端に合わせます。
(5)	**オートシートフィーダ**	ここに用紙をセットします。一度に複数枚の紙がセットでき、自動的に一枚ずつ給紙されます。
(6)	**カードスロットカバー**	メモリーカードをセットするときに開けます。➔ P.34
(7)	**排紙トレイ**	印刷された用紙が排出されます。印刷する前に開けてください。
(8)	**カメラ接続部**	本機に対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラから直接印刷するときに使います。➔ P.48 また、オプションの Bluetooth ユニット BU-20 を取り付けると、Bluetooth 通信を利用してワイヤレスで印刷できます。
(9)	**赤外線ポート**	赤外線通信で携帯電話から送られてきた写真データを受信します。➔ P.58
(10)	**原稿台ガラス**	原稿をセットします。
(11)	**操作パネル**	本機の設定や操作をするときに使用します。➔ P.7

■ 内部および背面

(12) FINE カートリッジホルダ	FINE カートリッジを取り付けます。 FINE カートリッジは、左側にブラック FINE カートリッジ、右側にカラー FINE カートリッジを取り付けます。
(13) FINE カートリッジ（インクカートリッジ）	プリントヘッドとインクタンクを一体化した交換可能なカートリッジです。
(14) スキャナユニット（プリンタカバー）	原稿を読み取るユニットです。
(15) カードスロット	撮影済みのメモリーカードをセットします。➔ P.34
(16) アクセスランプ	メモリーカードをセットすると点灯し、読み取り／書き込み中は点滅します。➔ P.34
(17) スキャナユニットサポート	スキャナユニット（プリンタカバー）を開けたときに、スキャナユニット（プリンタカバー）を固定させせます。
(18) 紙間選択レバー	用紙の種類に応じて FINE カートリッジと用紙の間隔を切り替えます。使用する用紙に合わせて切り替えてください。
(19) 電源コード接続部	付属の電源コードを接続するためのコネクタです。
(20) USB ケーブル接続部	USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

FINE カートリッジの取付方法は、「FINE カートリッジを交換する」（P.66）を参照してください。

操作パネルの名称と役割

(1) [電源]	本機の電源を入れる／切るときに押します。電源を入れると緑色に点滅し、 しばらくすると点灯します。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。
(2) エラーランプ	エラーが発生したとき、または用紙やインクがなくなったときなどにオレンジ色に点灯します。
(3) [スキャン]	スキャンモードに切り替えます。パソコンと接続している場合に使います。詳しくは、『スキャナガイド』を参照してください。
(4) [メモリーカード]	メモリーカードモードに切り替えます。
(5) 液晶モニター	メッセージ、メニュー項目、動作状況が表示されます。
(6) [メニュー]	メニューを表示するときに使用します。
(7) [用紙／設定]	用紙サイズや用紙の種類、または画像補正の設定をするときに使用します。
(8) [ストップ／リセット]	操作を取り消すときに使用します。また印刷中にこのボタンを押すと、印刷を中止します。
(9) [モノクロスタート]	白黒コピーまたは白黒スキャンを開始します。
(10) [カラースタート]	カラーコピー、カラーフォトプリント、またはカラースキャンを開始します。
(11) [▲][▼][◀][▶]	コピー部数やメニュー項目などを選ぶときに使います。液晶モニターに▲／▼／◀／▶と表示されているところは、それぞれのボタンで操作することができます。
(12) [OK]	メニュー項目や設定項目を確認します。また印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあと、復帰するときに使います。
(13) [戻る]	一つ前の画面に戻ります。
(14) [フォトナビシート]	フォトナビシートモードに切り替えます。➔ P.44
(15) [コピー]	コピーモードに切り替えます。

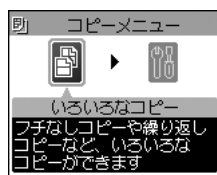
メニュー項目について

[メニュー]、[用紙／設定]、または［フォトナビシート］を押すと、メニュー項目画面が表示されます。

メニュー項目を使っていろいろな印刷設定や本機のお手入れができます。

メンテナンス／各設定は、コピーモード、メモリーカードモードのいずれのモードからでも設定できます。機能を設定するときに、この一覧表を参考にしてください。

■ コピーモード

[メニュー]

いろいろなコピー
- 絵はがき風コピー（➔ P.29）
- シール紙コピー（➔ P.30）
- フチなしコピー（➔ P.31）
- 繰り返しコピー（➔ P.32）

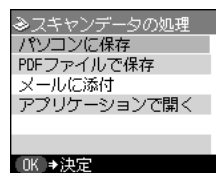
メンテナンス／各設定

[用紙／設定]

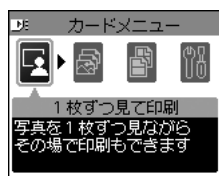
用紙サイズ（➔ P.22）
用紙の種類（➔ P.22）
印刷品質（➔ P.22）
倍率
- 等倍（➔ P.26）
- 定型変倍（➔ P.26）
- ズーム（25 ～ 400%）（➔ P.26）
- 用紙に合わせて自動変倍（➔ P.26）

自動濃度調整（➔ P.22）

■ スキャンモード

[メニュー]

パソコンに保存
PDF ファイルで保存
メールに添付
アプリケーションで開く

■ メモリーカードモード

［メモリーカード］

1 枚ずつ見て印刷（➔ P.37）
まとめて印刷（➔ P.39）
いろいろな印刷
- レイアウト印刷（➔ P.40）
- シール紙印刷（➔ P.41）
- すべてを印刷（➔ P.42）
- インデックス印刷（➔ P.42）
- DPOF 印刷（➔ P.42）

メンテナンス／各設定

［用紙／設定］

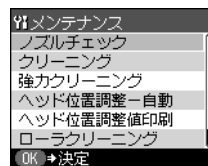
用紙サイズ（➔ P.23）
用紙の種類（➔ P.23）
印刷品質（➔ P.23）
フチ指定（➔ P.23）
日付画像番号（➔ P.23）
VIVID フォト（➔ P.24）
オートフォトパーフェクト（➔ P.24）
ノイズ除去（➔ P.24）
顔明るく補正（➔ P.24）
携帯画像補正（➔ P.24）
明るさ（➔ P.24）
コントラスト（➔ P.24）
色合い（➔ P.24）

［フォトナビシート］

フォトナビシート印刷
- すべてを印刷（➔ P.44）
- 印刷枚数を指定（➔ P.44）
- 日付を指定（➔ P.44）

シート読み取り＆印刷（➔ P.44）

● 〈メンテナンス／各設定〉

〈メンテナンス〉

ノズルチェック（➔ P.75）
クリーニング（➔ P.77）
強力クリーニング（➔ P.78）
ヘッド位置調整ー自動（➔ P.79）
ヘッド位置調整値印刷（➔ P.79）
ローラクリーニング（➔ P.82）
インク拭き取り（➔ P.83）

〈各設定〉

印刷設定
- サイレント設定（➔ P.63）
- コピーフチはみ出し量（➔ P.63）

ワイヤレス印刷設定
- 用紙サイズ（➔ P.57）
- 用紙の種類（➔ P.57）
- 携帯画像補正（➔ P.57）
- レイアウト（➔ P.57）

Bluetooth 設定 *
- 機種名選択（➔ P.61）
- アクセス拒否設定（➔ P.61）
- セキュリティ設定（➔ P.61）
- パスキー変更（➔ P.61）

その他の設定
- 日付表示形式（➔ P.64）
- カード書き込み状態（➔ P.64）
- パワーセーブ設定（➔ P.64）
- コントラスト調整（➔ P.64）
- スライドショー設定（➔ P.64）

言語選択（➔ P.65）
設定リセット（➔ P.65）
用紙設定保存（➔ P.65）
用紙設定呼出（➔ P.65）

* Bluetooth 設定メニューは Bluetooth ユニットを取り付けたときのみ表示されます。

本機の電源を入れる／切る

印刷を開始する前に、本機の電源を入れます。

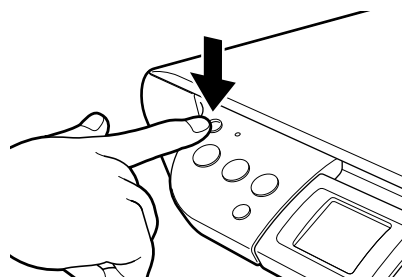
電源を入れる

電源を入れる前に、FINE カートリッジがセットされていることを確認してください。

上記の準備操作が行われていない場合は、『かんたんスタートガイド』にしたがって準備してください。

1 本機の［電源］を押して電源を入れる

電源ランプが点滅し、その後点灯（緑色）します。

- エラーランプがオレンジ色に点灯し、液晶モニターにエラーメッセージが表示された場合は、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.85）を参照してください。
- 液晶モニターは 5 分間本機を何も操作しないと消灯します。いずれかのボタンを押すと復帰します。

電源を切る

1 本機の［電源］を押して電源を切る

電源ランプの点滅が終わり、操作パネルのランプがすべて消灯すると電源が切れます。

電源プラグについて

電源を切ったあと、電源プラグを抜くときは、必ず操作パネルのランプがすべて消灯していることを確認してください。操作パネルのランプが点灯・点滅しているときに、電源プラグをコンセントから抜くと、その後印刷できなくなることがあります。

➔ きれいな印刷を保つために（プリントヘッドの乾燥・目詰まり防止）（P.72）

原稿をセットする

原稿を原稿台ガラスにセットする方法について説明します。

こんな原稿が使えます

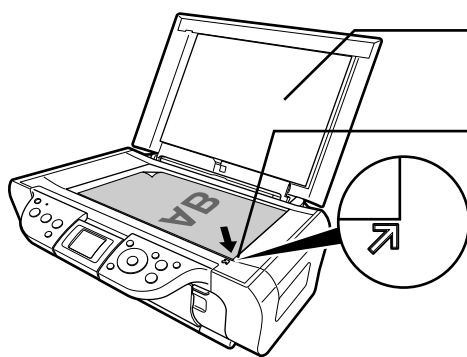
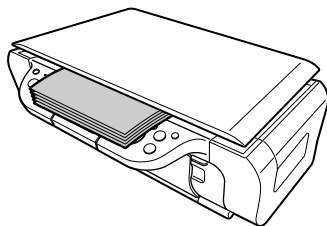
原稿台ガラスにセットして、コピーまたはスキャンできる原稿は、次のとおりです。

原稿の種類	● 書類 ● 写真 ● 本 ● カタログ ● 雑誌
サイズ（幅×長さ）	最大 216 mm × 297 mm
厚さ	最大 20 mm

原稿をセットしよう

原稿台ガラスにコピーまたはスキャンしたい原稿をセットします。

原稿にのり、インク、修正液などを使ったときは、完全に乾いてからセットしてください。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

2 原稿台カバーをゆっくり閉じる

用紙をセットする

印刷する用紙をセットする方法について説明します。

用紙について

■ 本機で使用できる用紙の種類

用紙の名称	型番	最大積載枚数	紙間選択レバーの位置	プリンタドライバの設定 [用紙の種類]
普通紙	—	約 100 枚	左	普通紙
官製はがき	—	20 枚	左	はがき
インクジェット官製はがき	—	20 枚	左	インクジェット官製はがき
インクジェット光沢官製はがき	—	20 枚	左	インクジェット官製はがき
スーパーホワイトペーパー	SW-101 A4 SW-201 A4	10mm 以下 10mm 以下	左	普通紙
ハイグレードコートはがき	CH-301	20 枚	左	インクジェット官製はがき（通信面） はがき（宛名面）
フォト光沢ハガキ	KH-201N	20 枚	左	光沢紙（通信面） はがき（宛名面）
プロフェッショナルフォトはがき *1	PH-101	20 枚	左	プロフォトペーパー（通信面） はがき（宛名面）
エコノミーフォトペーパー	EC-101 L EC-1012L EC-101 カード EC-201 L	20 枚 10 枚 20 枚 20 枚	左	光沢紙
キヤノン光沢紙 *1	GP--401 A4	10 枚	左	光沢紙
スーパーフォトペーパー *1	SP-101 A4 SP-101 L SP-101 2L SP-101 パノラマ	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	左	スーパーフォトペーパー
スーパーフォトペーパー・シルキー *1	SG-101 A4 SG-101 L SG-101 2L	10 枚 20 枚 10 枚	左	スーパーフォトペーパー
プロフェッショナルフォトペーパー *1	PR-101 A4 PR-101 L PR-101 2L PR-101 六切	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	左	プロフォトペーパー
マットフォトペーパー	MP-101 A4 MP-101 L	10 枚 20 枚	左	マットフォトペーパー
ピクサスプチシール （16 面光沢フォトシール）	PS-101	1 枚	左	インクジェット官製はがき （またはスーパーフォトペーパー）
ピクサスプチシール・フリーカット	PS-201	1 枚	左	インクジェット官製はがき （またはスーパーフォトペーパー）
フォトシールセット （2 面／ 4 面／ 9 面／ 16 面）	PSHRS	1 枚	左	インクジェット官製はがき （またはスーパーフォトペーパー）
片面光沢名刺用紙 *2	KM-101	20 枚	左	スーパーフォトペーパー
両面マット名刺用紙	MM-101	20 枚	左	スーパーフォトペーパー （写真・イラスト） 普通紙（文字）

「型番」のあるものは、キヤノン製専用紙です。

*1 用紙がうまく送れない場合、用紙が貼り付くのを防ぐため、セットする際は、1 枚ずつはがして必要枚数をセットしてください。

*2 裏面には印刷しないでください。

- コピー・ダイレクト印刷をするときの、用紙サイズと用紙の種類の設定方法については、「用紙／設定画面について」（P.21）を参照してください。
- 携帯電話の写真を印刷するときの、用紙サイズと用紙の種類の設定方法については、「印刷する用紙やレイアウトを設定する」（P.56）を参照してください。

■ パソコンからの印刷にのみ使用できる用紙の種類

用紙の名称	型番	最大積載枚数	紙間選択レバーの位置	プリンタドライバの設定 [用紙の種類]
封筒	—	10 枚	右	封筒
往復はがき	—	20 枚	左	はがき
高品位専用紙	HR-101S A4 HR-101S B5	80 枚 80 枚	左	高品位専用紙
スーパーフォトペーパー・両面 *	SP-101D A4 SP-101D 2L	1 枚 1 枚	左	Windows スーパーフォトペーパー両面 Macintosh スーパーフォトペーパー
OHP フィルム *	CF-102	30 枚	左	OHP フィルム
T シャツ転写紙	TR-301	1 枚	右	T シャツ転写紙

「型番」のあるものは、キヤノン製専用紙です。

* 用紙がうまく送れない場合、用紙が貼り付くのを防ぐため、セットする際は、1 枚ずつはがして必要枚数をセットしてください。

■ 使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。また、A5 サイズより小さい用紙（はがき／L 判など）に印刷するときは、官製はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙を使用しないでください。

- 折れている／カールしている／しわがついている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ 64g/m^2 未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外で重さ 105g/m^2 を超えるもの）
- 絵はがき
- 折り目のついた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- 穴のあいている用紙（例：ルーズリーフ）

■ 用紙の取り扱いについて

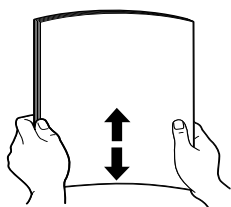
用紙を取扱うときは、以下の事項に注意してください。

- 用紙はできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。印刷面に傷がついたり汚れがつくと、印刷の品質が低下することがあります。
- インクが乾くまで印刷面には触らないでください。また、印刷済みの用紙を濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷面に触れないでください。
- 用紙によっては、インクを大量に使う印刷をすると用紙がカールして印刷面がこすれることがあります。この場合は、「困ったときには」の「用紙が汚れる／印刷面がこすれる／用紙がうまく送られない」（P.90）を参照してください。
  また、このような用紙は写真やグラフィックスを含む原稿の印刷にはお勧めできません。文字中心の原稿の印刷にご使用になることをお勧めします。
- 端が折れていたり、しわが寄っているなど、状態の悪い用紙は使わないでください。カールしている場合は、カールを直してから印刷してください。直しかたについては、「困ったときには」の「用紙が汚れる／印刷面がこすれる／用紙がうまく送られない」の「適切な用紙を使用していない」（P.91）を参照してください。
- 使わなかった用紙は入っていた袋に入れ、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所を避けて保管してください。曲がったり、しわにならないよう水平に置いてください。
- 印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着した場合、インクがにじむことがあります。

用紙のセット方法

■ 普通紙のセット方法

キヤノン製専用紙の紹介については、「本機で使用できる用紙の種類」（P.12）を参照してください。

1 セットする用紙をそろえる

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙がカールしているときは、逆向きに曲げてカールを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。カールの直しかたについては、「困ったときには」の「反りのある用紙を使用している」（P.91）を参照してください。

2 用紙をセットする準備

❶ 1 用紙サポートを開きます。
2 補助サポートを引き出します。

❷ 排紙トレイを開きます。

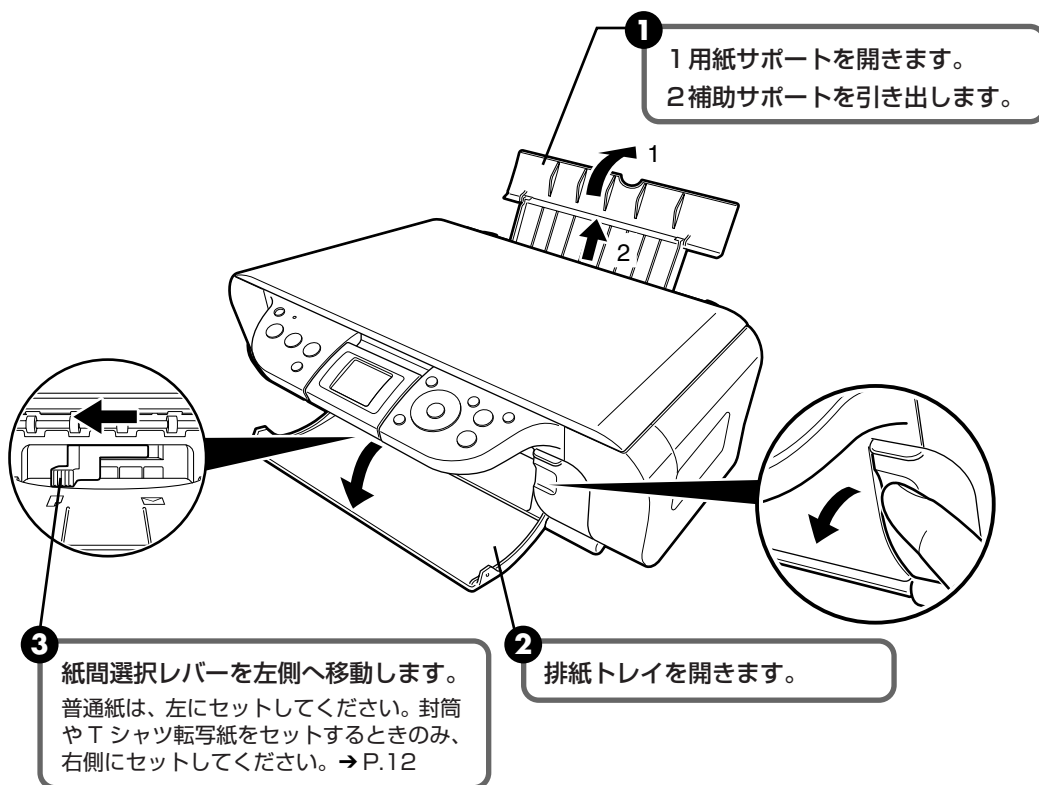
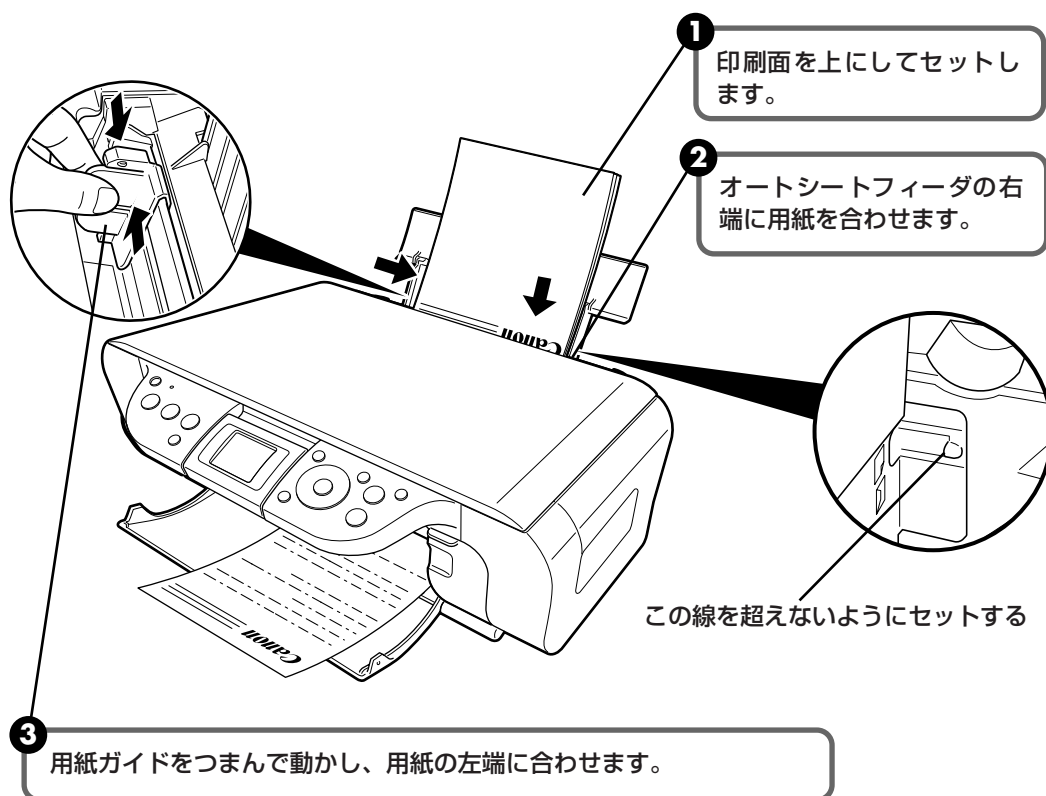
❸ 紙間選択レバーを左側へ移動します。
普通紙は、左にセットしてください。封筒やＴシャツ転写紙をセットするときのみ、右側にセットしてください。➔ P.12

3　用紙をセットする

❶ 印刷面を上にしてセットします。

❷ オートシートフィーダの右端に用紙を合わせます。

この線を超えないようにセットする

❸ 用紙ガイドをつまんで動かし、用紙の左端に合わせます。

- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン製専用紙スーパーホワイトペーパー SW-101 が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、スーパーホワイトペーパー SW-201 がお勧めです。

  用紙サイズ　［定型紙］　A4、B5、A5、レター、リーガル
  　　　　　　　［非定型紙］　最小（横 54.0mm ×縦 86.0mm）、最大（横 215.9mm ×縦 584.2mm）

  用紙の重さ　64 ～ 105g/m^2

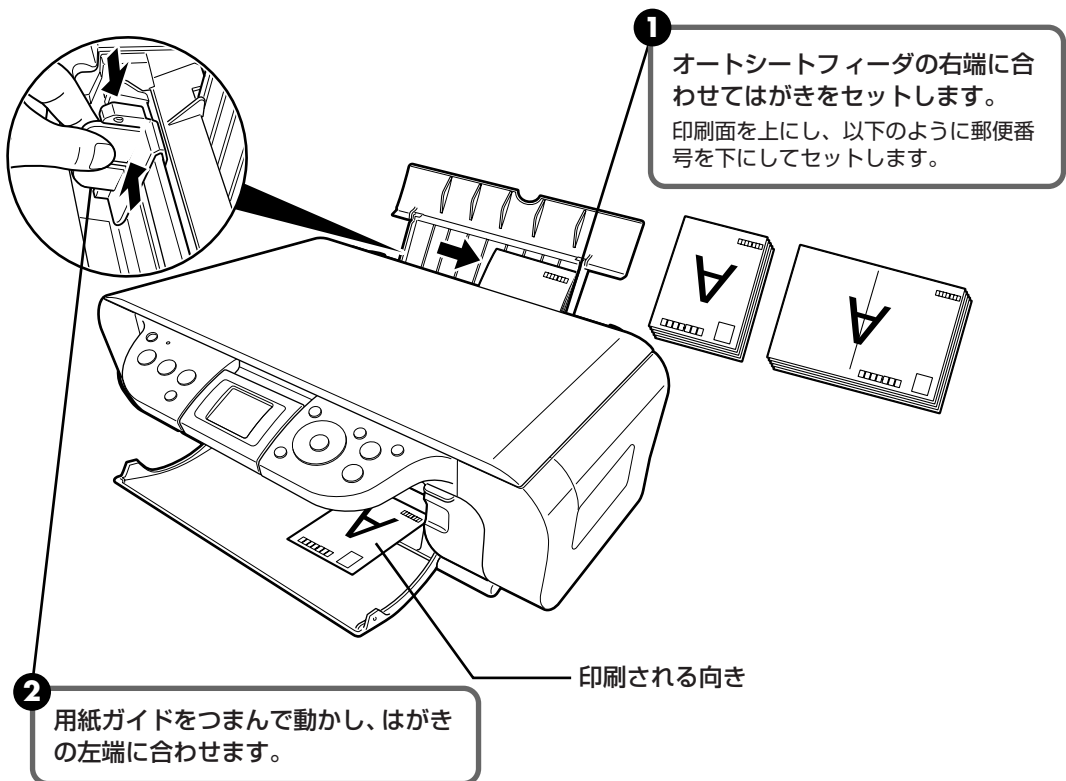
- 64g/m^2 で約 100 枚（高さ 10mm）までセットできます。ただし排紙トレイにある程度の枚数がたまったら取り除くようにしてください。

■ はがきのセット方法

一般の官製はがき、往復官製はがき、インクジェット官製はがき、インクジェット光沢官製はがき、お年玉付き年賀はがき、キヤノン製専用紙プロフェッショナルフォトはがき PH-101、フォト光沢ハガキ KH-201N、ハイグレードコートはがき CH-301 に印刷できます。

- 往復官製はがきはパソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復官製はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復官製はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず紙づまりの原因になります。
- 普通紙をはがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

- はがきは 20 枚までセットできます。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。

3 パソコンを使わずにコピー・ダイレクト印刷をする場合、[用紙／設定] を押して〈用紙サイズ〉から〈はがき〉を選びます。また、パソコンに接続してお使いになる場合、プリンタドライバの［用紙の種類］で、セットしたはがきの種類を選びます。
プリンタドライバの設定については、『操作ガイド（パソコン操作編）』の「文書を印刷してみよう」を参照してください。

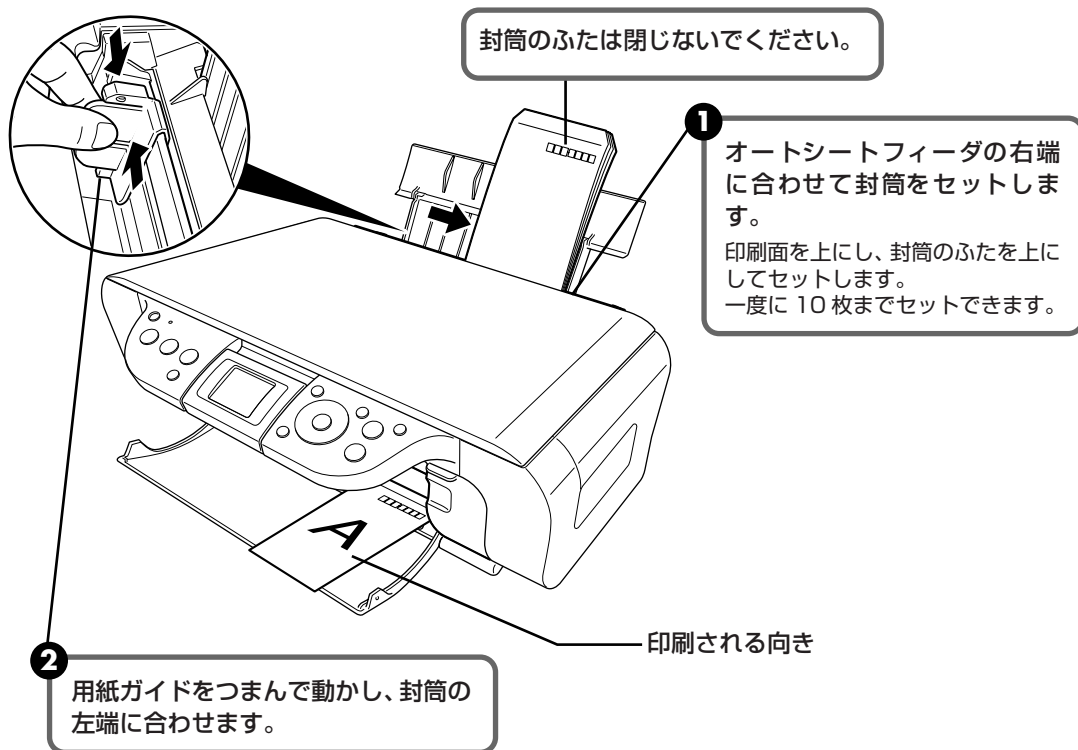
写真を印刷するときは、キヤノン製の写真専用紙のご使用をお勧めします。
➔ 本機で使用できる用紙の種類（P.12）

■封筒のセット方法

一般の長形 3 号、長形 4 号の長形封筒と、洋形 4 号、洋形 6 号の洋形封筒に印刷できます。
宛名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

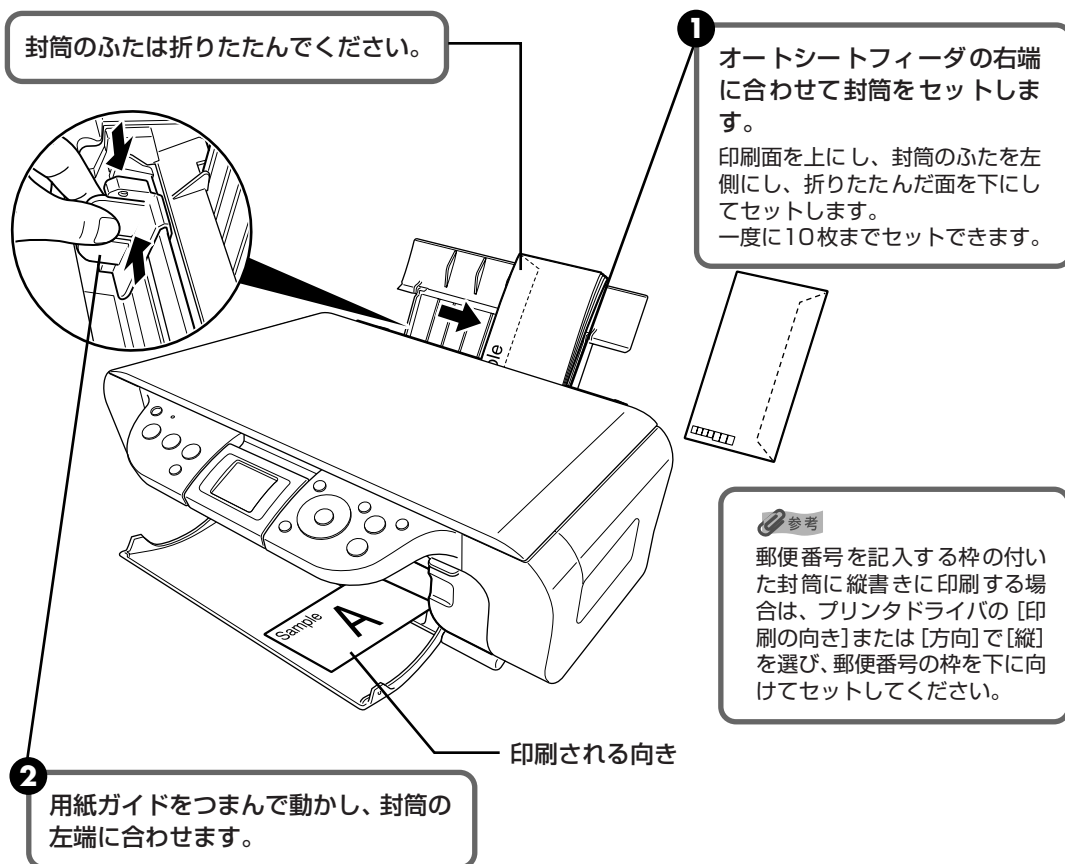
重要

- パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 角形封筒には印刷できません。
- 型押しや、コーティングなどの加工された封筒、ふたが二重（またはシール）になっている封筒には印刷できません。
- Macintosh をお使いの場合は、長形 3 号／ 4 号の封筒は印刷できません。
- Windows® Me ／ Windows® 98 をお使いの場合で、長形 3 号／ 4 号の封筒に印刷するときは［バックグラウンド印刷］にチェックマークを付けてください。チェックマークが付いていないと正しい向きに印刷されません。
  バックグラウンド印刷の設定を確認するには、プリンタドライバの設定画面を表示し、［ページ設定］シートの［印刷オプション］をクリックしてください。
  プリンタドライバの設定については、『印刷設定ガイド』を参照してください。
- ［用紙サイズ］を正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されます。

■ 長形封筒に印刷する場合

- 封筒に印刷するときには、紙間選択レバーを右側に設置します。（➔ P.15）
- 特殊な封筒を使用し、印刷結果が上下逆さまになる場合は、プリンタドライバの設定画面を表示して、［ページ設定］シートの［180 度回転］にチェックマークを付けてください。
  プリンタドライバの設定については、『印刷設定ガイド』を参照してください。

❸ プリンタドライバの［用紙の種類］で［封筒］を選び、［用紙サイズ］で［長形３号］または［長形４号］を選びます。
プリンタドライバの設定については、『操作ガイド（パソコン操作編）』の「文書を印刷してみよう」を参照してください。

■ 洋形封筒に印刷する場合

参考
郵便番号を記入する枠の付いた封筒に縦書きに印刷する場合は、プリンタドライバの［印刷の向き］または［方向］で［縦］を選び、郵便番号の枠を下に向けてセットしてください。

参考

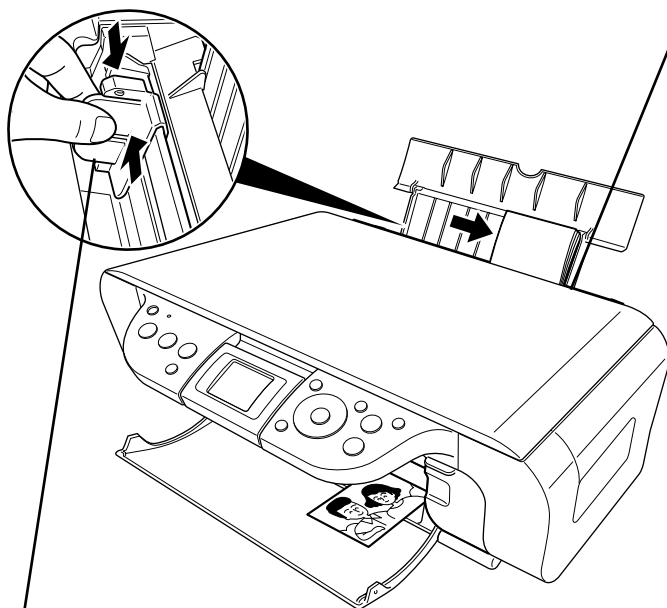
- 封筒に印刷するときには、紙間選択レバーを右側に設置します。（➔ P.15）
- 特殊な封筒を使用し、印刷結果の左右を逆にししたい場合は、プリンタドライバの設定画面を表示して、［ページ設定］シートの［180 度回転］にチェックマークを付けてください。

❸ プリンタドライバの［用紙の種類］で［封筒］を選び、［用紙サイズ］で［洋形４号］または［洋形６号］を選びます。

❹ プリンタドライバの［印刷の向き］または［方向］で［横］を選びます。
プリンタドライバの設定については、『印刷設定ガイド』を参照してください。

■ その他小さなサイズの用紙のセット方法

L 判、2L 判、名刺、カードサイズの用紙に印刷できます。

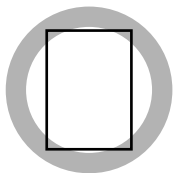
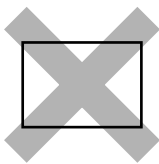
普通紙を L 判、2L 判、名刺、カードサイズの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

1 オートシートフィーダの右端に合わせて用紙をセットします。

印刷面を上にし、写真の向きにかかわらず、縦方向に用紙をセットします。
L 判は 20 枚、2L 判は 10 枚、名刺、カードサイズは 20 枚までセットできます。

2 用紙ガイドをつまんで動かし、用紙の左端に合わせます。

3 パソコンを使わずにコピー・ダイレクト印刷をする場合、[用紙/設定] を押して用紙サイズを選びます。また、パソコンに接続してお使いになる場合、プリンタドライバの [用紙サイズ] でセットした用紙サイズを選びます。
プリンタドライバの設定については、『操作ガイド(パソコン操作編)』の「文書を印刷してみよう」を参照してください。

重要

用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると紙づまりの原因となります。

縦方向　　横方向

写真を印刷するときは、キヤノン製の写真専用紙のご使用をお勧めします。
➔ 本機で使用できる用紙の種類(P.12)

用紙／設定画面について

ここでは、用紙／設定画面でできる設定項目について説明します。

用紙／設定画面を変更する

用紙サイズや用紙の種類、フチのあり／なしなど印刷設定を変更することができます。

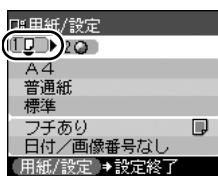
■ 用紙／設定画面の変更方法

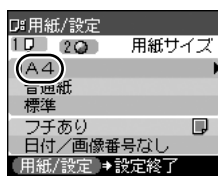
ここでは、メモリーカードモードの用紙サイズを〈L 判〉に設定する操作を例に、設定変更の手順について説明します。設定項目については、「各タブの設定項目」（P.22）を参照してください。

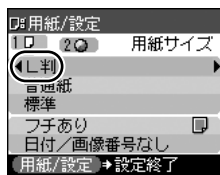
1　用紙／設定画面を表示させる

❶ ［用紙／設定］を押します。
用紙／設定画面が表示されます。

2　設定タブを選ぶ

❶ ［◀］か［▶］で設定タブを選びます。
例：タブ 1 を選びます。

3　設定項目を選ぶ

❶ ［▲］か［▼］で設定項目を選びます。
例：〈A4〉にカーソルを合わせます。

4 選択項目を表示する

❶［◀］か［▶］で設定項目を選びます。
例：〈L 判〉に変更します。

5 設定変更を終了する

❶［用紙／設定］を押します。
元の画面に戻ります。

各タブの設定項目

各タブでは以下のような項目があります。タブを切り替えるには、［▲］でタブを選んで、［◀］か［▶］を押します。

コピーモードまたはメモリーカードモードで設定した機能によっては、組み合わせて設定できない設定項目があります。

■ コピーモード

ここでは、コピーモードの用紙／設定画面について説明します。

■ タブ 1

印刷する用紙や印刷品質などの設定ができます。

❶ **用紙サイズを設定できます。**
A4 ／ B5 ／ A5 ／ L 判／ 2L 判／はがき／カード／名刺／レターサイズ

❷ **用紙の種類を設定できます。**
普通紙／プロフォトペーパー／スーパーフォト／マットフォト／光沢紙／インクジェットはがき

用紙サイズを〈はがき〉に設定したときだけ、〈インクジェットはがき〉を選ぶことができます。

❸ **コピーしたい原稿に合わせて画質を調整することができます。**
標準／きれい／はやい

- 用紙の種類を〈普通紙〉に設定したときだけ、〈はやい〉を選ぶことができます。その他の用紙を選んだときは〈きれい〉に設定されます。
- 用紙の種類が〈普通紙〉の場合、〈はやい〉を選んで思ったような画質で印刷できないときは、〈標準〉または〈きれい〉を選んで、もう一度印刷してみてください。
- グレースケールでコピーしたいときは、〈きれい〉を選んでください。グレースケールとは、二値（2 階調）で表現している白黒に対し、グレーの濃淡を数多くの階調で表現したものです。

❹ **拡大／縮小の方法を設定できます。**

等倍／定型変倍／ズーム（25 ～ 400%）／用紙に合わせて自動変倍

■ タブ 2

自動濃度調整の設定ができます。

❺ **自動濃度調整 ON ／自動濃度調整 OFF**

〈自動濃度調整 ON〉を選ぶと、原稿台ガラスにセットした原稿に合わせて自動で濃度を調整して印刷できます。

■ メモリーカードモード

ここでは、メモリーカードモードの用紙／設定画面について説明します。

■ タブ 1

印刷する用紙やフチのあり／なし、日付画像番号印刷などの設定ができます。

❶ **用紙サイズを設定できます。**

A4 ／ L 判／ 2L 判／はがき／カード／名刺／六切／レターサイズ

❷ **用紙の種類を設定できます。**

普通紙／プロフォトペーパー／スーパーフォト／マットフォト／光沢紙／インクジェットはがき

用紙サイズを〈はがき〉に設定したときだけ、〈インクジェットはがき〉を選ぶことができます。

❸ **印刷品質を設定できます。**

標準／きれい

❹ **フチのあり／なしを設定できます。**

フチなし／フチあり

用紙の種類を〈普通紙〉に設定したときは、〈フチなし〉を選んでいてもフチありで印刷されます。

❺ **写真に撮影日の日付を付けたり、画像番号を付けて印刷できます。**

日付 / 画像番号なし／日付のみ印刷／画像番号のみ印刷／日付＋画像番号印刷

■ タブ 2

次の機能を使って印刷する写真を補正することができます。

補正するときは、巻末の「写真をきれいに印刷しよう」の例もあわせて参照してください。

❶ VIVID フォト ON ／ VIVID フォト OFF

〈VIVID フォト ON〉を選ぶと、VIVID フォト機能（緑や青色をより鮮やかに印刷）が有効になります。

❷ オートフォトパーフェクト ON／オートフォトパーフェクト OFF

〈オートフォトパーフェクト ON〉を選ぶとオートフォトパーフェクト機能（写真の色合いや明るさを自動補正）が有効になります。

❸ ノイズ除去 ON／ノイズ除去 OFF

〈ノイズ除去 ON〉を選ぶと、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを軽減できます。

❹ 顔明るく補正 ON／顔明るく補正 OFF

〈顔明るく補正 ON〉を選ぶと、逆光などで暗くなった人物の顔を明るく印刷できます。

❺ 携帯画像補正 ON／携帯画像補正 OFF

〈携帯画像補正 ON〉を選ぶと、輪郭のギザギザをなめらかにして印刷できます。

❻ 明るさを調整します。

明るさ＋ 2 ／明るさ＋ 1 ／明るさ標準／明るさ－ 1 ／明るさ－ 2

❼ コントラストを調整できます。

コントラスト＋2／コントラスト＋1／コントラスト標準／コントラスト－1／コントラスト－2

❽ 色合いを調整できます。

例えば、肌の色味の赤を強くしたり、黄色を強くすることができます。

肌色 赤＋ 2 ／肌色 赤＋ 1 ／色合い調整なし／肌色 黄＋ 1 ／肌色 黄＋ 2

コピーをとる

ここでは、コピーの基本的な操作手順について説明します。

1 コピーの準備をする

❶ 本機の［電源］を押して電源を入れます。➔ P.10

❷［コピー］を押します。

❸ 用紙をセットします。➔ P.12

2 コピーを開始する

❶ 用紙サイズ、用紙の種類を確認します。

用紙サイズ、用紙の種類、その他の印刷設定を確認、変更したい場合は［用紙／設定］を押してください。➔ P.21

❷［▲］か［▼］でコピー部数を指定します。

濃度（明るさ）が表示されます。

［◀］を押すと薄くなります。［▶］を押すと濃くなります。
自動濃度調整に設定することもできます。➔ P.22

❸ 原稿台ガラスに原稿をセットします。

コピーできる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、「原稿をセットする」（P.11）を参照してください。

❹ カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。
コピーが始まります。

コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

拡大・縮小してコピーする

原稿を拡大または縮小してコピーできます。

1 コピーの準備をする → P.25

2 拡大／縮小の方法を選ぶ

〈ズーム（25 ～ 400%)〉を選んだ場合を例として説明します。

❶［用紙／設定］を押します。

❷［◀］か［▶］でタブ 1 を選びます。

❸［▲］か［▼］で〈倍率〉を選び、［◀］か［▶］で〈ズーム（25 ～ 400%)〉を選びます。
パーセントを指定して拡大／縮小コピーします。

〈ズーム（25 ～ 400%)〉の他に以下の方法が選べます。

等倍 :	原稿と同じサイズでコピーします。
定型変倍 :	A4 から A5 への縮小、B5 から A4 への拡大など、用紙サイズを変更するときに便利です。
用紙に合わせて自動変倍 :	オートシートフィーダにセットした用紙サイズにおさまるように、原稿を自動的に拡大、または縮小してコピーします。

❹［▼］を押してカーソルを下側に移動し、［◀］か［▶］で設定値を選びます。
［◀］か［▶］を押したままにするとコピー倍率を早く切りかえることができます。

〈用紙に合わせて自動変倍〉を選んだ場合、原稿によってはサイズを正しく検知できないことがあります。正しく検知できないときは〈定型変倍〉か〈ズーム（25 ～ 400%)〉を選んでください。

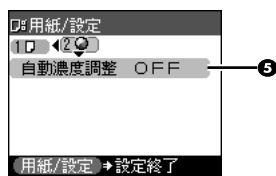
3 設定内容を確定する

❶［用紙／設定］を押します。
コピー画面に戻ります。

4 コピーを開始する → P.25

コピー設定を変更する

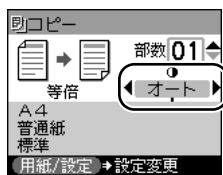
用紙サイズや用紙の種類、印刷品質など印刷設定を変更することができます。

変更方法と設定項目については、「用紙／設定画面を変更する」（P.21）を参照してください。

❶ 用紙サイズを設定できます。

❷ 用紙の種類を設定できます。

❸ コピーしたい原稿に合わせて画質を調整することができます。

❹ 拡大／縮小の方法を設定できます。➔ P.26

❺ 自動濃度調整を行うか設定できます。
〈自動濃度調整　ON〉に設定すると、液晶モニターの濃度調整のスライドバーの上にあるアイコンが〈オート〉に変わります。

〈自動濃度調整 ON〉に設定されていても、［◀］か［▶］を押すと濃度を変更できます。スライドバーの中心にカーソルを移動させると、再び自動濃度調整が有効になります。

便利なコピー機能を使う

コピー機能には次のような機能があります。

- 絵はがきを作る一絵はがき風コピー ➔ P.29
- シールを作るーシール紙コピー ➔ P.30
- 用紙全体にコピーするーフチなしコピー ➔ P.31
- 画像を 1 枚の用紙に繰り返しコピーする一繰り返しコピー ➔ P.32

いろいろなコピー

いろいろなレイアウトのコピーが楽しめます。

いろいろなコピーの各種設定を解除するには、コピー画面で［ストップ／リセット］を押します。
コピー部数または濃度が設定されている場合は、［ストップ／リセット］を 2 回押してください。

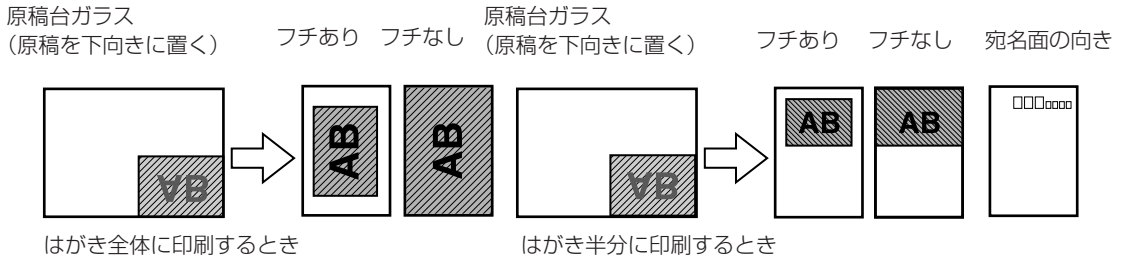
1　コピーの準備をする ➔ P.25

2　コピーメニューを選ぶ

❶［メニュー］を押します。

❷［◀］か［▶］で〈いろいろなコピー〉を選び、［OK］を押します。
いろいろなコピー画面が表示されます。

■絵はがきを作る－絵はがき風コピー

写真やイラストを利用して、オリジナルの絵はがきを作ることができます。

❶ いろいろなコピー画面を表示させます。➔ P.28

❷ ［◀］か［▶］で〈絵はがき風コピー〉を選び、［OK］を押します。

❸ ［◀］か［▶］でレイアウトを選び、［OK］を押します。
以下のレイアウトが選べます。

全面 フチあり、全面 フチなし、半分 フチあり、半分 フチなし

❹ 液晶モニターの表示にしたがい、原稿台ガラスに原稿をセットし、[OK] を押します。

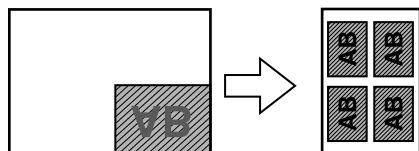
❺ 必要に応じて各項目を設定します。➔ P.21

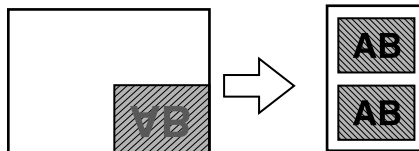
❻ カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は、［モノクロスタート］を押します。

参考

- この機能は、用紙サイズを〈はがき〉に設定したときのみ選ぶことができます。
- 倍率は設定できません。
- 印刷品質は、〈標準〉または〈きれい〉を選ぶことができます。
- 〈全面 フチなし〉でコピーすると、画像ははがき全体にコピーされるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- 〈全面 フチあり〉でコピーすると、フチの分だけ画像の周囲が欠けます。
- この機能は、用紙の種類を〈プロフォトペーパー〉、〈スーパーフォト〉、〈マットフォト〉、〈光沢紙〉、または〈インクジェットはがき〉に設定したときだけ使うことができます。

■ シールを作る－シール紙コピー

キヤノン製シール紙を使うと、写真やイラストで、かんたんにシールを作ることができます。

原稿台ガラス（原稿を下向きにおく）

シールタイプ：４面シール

シールタイプ：４面シール、９面シール、16 面シールの場合

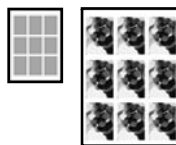
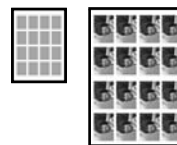
シールタイプ：２面シールの場合

1 いろいろなコピー画面を表示させます。➔ P.28

2 ［◀］か［▶］で〈シール紙コピー〉を選び、［OK］を押します。

3 ［◀］か［▶］でレイアウトを選び、［OK］を押します。
以下のレイアウトが選べます。
２面シール、４面シール、９面シール、16 面シール

２面シール〈2 × 1〉

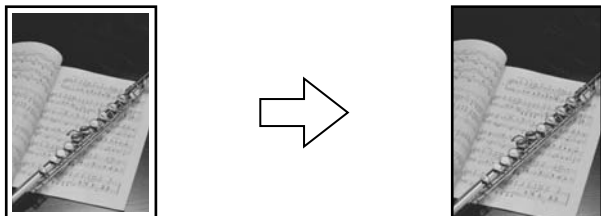
４面シール〈2 × 2〉

９面シール〈3 × 3〉

16 面シール〈4 × 4〉

4 液晶モニターの表示にしたがい、原稿台ガラスに原稿をセットし、[OK] を押します。

5 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は、［モノクロスタート］を押します。

- 一度にセットできる枚数は 1 枚です。
- 用紙サイズ、用紙の種類、倍率は設定できません。
- 印刷品質は〈きれい〉に設定されます。〈きれい〉以外を選ぶことはできません。

■ 用紙全体にコピーする－フチなしコピー

画像のまわりにフチがでないように、用紙全体にコピーします。

❶ いろいろなコピー画面を表示させます。➔ P.28

❷ ［◀］か［▶］で〈フチなしコピー〉を選び、［OK］を押します。

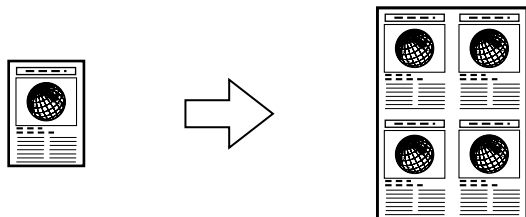
❸ 必要に応じて各項目を設定します。➔ P.21

❹ カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

参考

- 画像は、用紙全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- この機能は、用紙サイズを〈A4〉、〈レターサイズ〉、〈はがき〉、〈L 判〉、〈2L 判〉、〈名刺〉または〈カード〉に設定したときだけ使うことができます。
- この機能は、用紙の種類を〈プロフォトペーパー〉、〈スーパーフォト〉、〈マットフォト〉、〈光沢紙〉、または〈インクジェットはがき〉に設定したときだけ使うことができます。
- 印刷品質は、〈標準〉または〈きれい〉を選ぶことができます。
- 画像の大きさに合わせて、はみ出し量を調整できます。

■ 画像を 1 枚の用紙に繰り返しコピーする ─ 繰り返しコピー

用紙に原稿を繰り返しコピーできます。繰り返す回数は、あらかじめ本機に設定されている回数を選ぶか、または手動で何回コピーするかを指定します。

❶ いろいろなコピー画面を表示させます。➔ P.28

❷ [◀] か [▶] で〈繰り返しコピー〉を選び、[OK] を押します。

❸ [▲] か [▼] で繰り返す方法を選びます。
〈自動レイアウト〉を選んで [OK] を押したときは、手順 ❼ に進んでください。
〈レイアウト指定〉を選んで [OK] を押したときは、手順 ❹ に進んでください。

❹ [▲] か [▼] で縦に繰り返す回数を設定します。

❺ [▶] を押してカーソルを右側に移動させます。

❻ [▲] か [▼] で横に繰り返す回数を設定し、[OK] を押します。

❼ 液晶モニターの表示にしたがい、原稿台ガラスに原稿をセットし、[OK] を押します。

❽ 必要に応じて各項目を設定します。➔ P.21

❾ カラーコピーをする場合は [カラースタート] を押し、白黒コピーをする場合は、[モノクロスタート] を押します。

重要

- 原稿を読み込む範囲は、拡大／縮小率によって異なります。
- コピーする原稿は、一区切り分におさまるサイズでなければなりません。たとえば、等倍で原稿を 4 回コピーするときの原稿サイズは、用紙サイズの 1/4 以内でなくてはなりません。

- 用紙サイズの〈カード〉と〈名刺〉は選べません。
- 倍率の〈用紙に合わせて自動変倍〉は選べません。

メモリーカードをセットする

使用できるメモリーカード、各メモリーカードのセット方法と取り出し方法について説明します。

使用できるメモリーカードについて

以下のメモリーカードが使用できます。

カードスロットに直接セット可能なメモリーカード	
	コンパクトフラッシュ（CF）カード TYPE Ⅰ /TYPE Ⅱ（3.3V）に対応しています。 マイクロドライブ
	スマートメディア 3.3V のカードのみ対応しています。 1MB/2MB のカードは対応していません。
	メモリースティック メモリースティック PRO
	SD メモリーカード マルチメディアカード

アダプタを使用してカードスロットにセットするメモリーカード	
	xD-Picture カード *[1]
	メモリースティック Duo*[2] メモリースティック PRO Duo*[2]
	mini SD カード *[2]

*[1] 別途 xD-Picture カード用コンパクトフラッシュカードアダプタをお買い求めください。
推奨 xD-Picture Card アダプタ（2005 年 4 月現在）

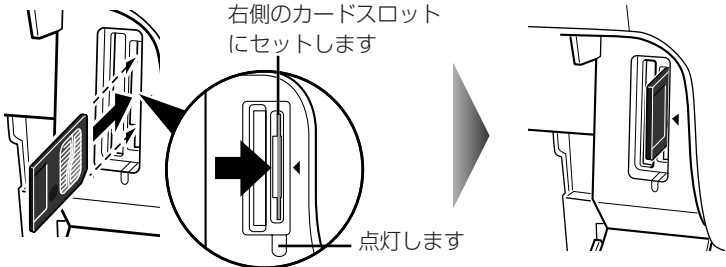
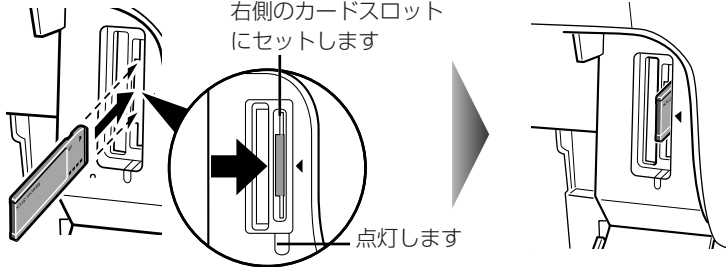
- 富士写真フイルム株式会社製　型番：DPC-CF
- オリンパス株式会社製　型番：MACF-10

*[2] カードに付属の専用アダプタを使用してください。

重要

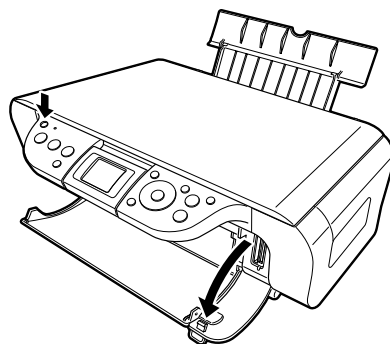
- 本機は DCF 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif 準拠）、および DPOF（Ver1.00 準拠）に対応しています。
- デジタルカメラが対応していないメモリーカードに保存されている写真は、読み込めない場合や写真データが破損する場合があります。デジタルカメラが対応しているメモリーカードについては、デジタルカメラに付属の使用説明書を参照してください。
- メモリーカードは、デジタルカメラでフォーマットしてください。パソコン固有のフォーマットには対応していません。
- パソコンで編集した写真は、正しく印刷できないことがあります。
- 1 種類のメモリーカードのみをセットしてください。

メモリーカードをカードスロットにセットする

- 本機の操作パネルを使って、〈各設定〉の〈カード書き込み状態〉で〈書き込み可能〉にしている場合は、メモリーカードからの印刷ができなくなります。本機のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして操作したあとは、メモリーカードを抜いてから〈カード書き込み状態〉を〈書き込み禁止〉に設定してください。➔ P.64
- メモリーカードのデータをパソコンで編集・加工したときは、必ずパソコンから印刷してください。操作パネルから印刷を行うと、正しく印刷できないことがあります。

1 本機の［電源］を押して電源を入れる

➔ P.10

2 カードスロットカバーを開ける

3 メモリーカードをカードスロットにセットする

カードの種類	セット方法
● コンパクトフラッシュ ● マイクロドライブ ● xD-Picture カード＊	図のようにメモリーカードのラベル面を右に向けて、カードが入るところまで挿入してください。 左側のカードスロットにセットします 点灯します

カードの種類	セット方法
● スマートメディア	図のようにメモリーカードのラベル面を右に向けて、カードが入るところまで挿入してください。
● メモリースティック ● メモリースティック PRO ● メモリースティック Duo* ● メモリースティック PRO Duo* ● SD メモリーカード ● miniSD カード * ● マルチメディアカード	図のようにメモリーカードのラベル面を右に向けて、カードが入るところまで挿入してください。

* 専用のアダプタに取り付けて、カードスロットにセットしてください。

4 アクセスランプが点滅した後、点灯したことを確認する

⚠ 注意

- メモリーカードがスロットからはみ出した状態になりますが、それ以上無理に押し込まないでください。無理に押し込むと本機やメモリーカードの破損につながります。
- メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、本機やメモリーカードが破損するおそれがあります。
- アクセスランプが点滅しているときはメモリーカードを取り出したり、本機の電源を切らないでください。メモリーカードのデータが破損するおそれがあります。

5 カードスロットカバーを閉じる

メモリーカードを取り出す

本機をパソコンに接続して使用している場合は、パソコン側での取り出し操作が必要になります。操作方法については、『操作ガイド（パソコン操作編）』の「カードスロットをパソコンのドライブに設定する」を参照してください。

1 カードスロットカバーを開ける

2 アクセスランプが点滅していないことを確認してカードを取り出す

アクセスランプが点滅していないことを確認し、カードのはみ出した部分をつまんで、カードを取り出してください。

重要

アクセスランプが点滅しているときにメモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ると、メモリーカードのデータが破損することがあります。

3 カードスロットカバーを閉じる

かんたん写真印刷

デジタルカメラのメモリーカードに保存されている写真を液晶モニターで見ることができます。
写真を見ながら 1 枚ずつ印刷したり、印刷部数を指定して印刷してみましょう。

写真を見ながら印刷するー 1 枚ずつ見て印刷

メモリーカードの写真を印刷します。

1 印刷の準備をする

❶ 本機の［電源］を押して電源を入れます。➔ P.10

❷ 用紙をセットします。➔ P.12

❸ メモリーカードをカードスロットにセットします。➔ P.34

2 印刷メニューを選ぶ

❶［メモリーカード］を押します。

❷［◀］か［▶］で〈1 枚ずつ見て印刷〉を選び、［OK］を押します。

写真選択画面が表示されます。

写真を読み込み中は、液晶モニターに ⏱ が表示される場合があります。

3 印刷したい写真を選ぶ

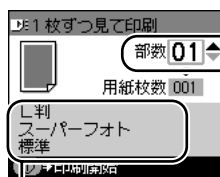
❶ ［◀］か［▶］で印刷したい写真を表示します。

❷ ［カラースタート］を押します。
印刷確認画面が表示されます。

自動で次の写真を表示する－スライドショー

〈1 枚ずつ見て印刷〉で写真を見ているときは、自動で次の写真を表示することができます。

- スライドショーを開始するときは、〈1 枚ずつ見て印刷〉で写真を見ているときに［OK］を押します。
- スライドショー中に［ストップ／リセット］を押すとスライドショーが終了します。

4 印刷を開始する

❶ 用紙サイズ、用紙の種類を確認します。

参考
用紙サイズ、用紙の種類、その他の印刷設定を確認、変更したい場合は［用紙／設定］を押してください。➔ P.21

❷ ［▲］か［▼］で印刷部数を指定します。

❸ ［カラースタート］を押します。
印刷が始まります。

- 印刷を中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- ［モノクロスタート］を押しても、印刷は開始されません。

写真ごとに印刷枚数を指定して印刷する－まとめて印刷

写真ごとに印刷枚数を指定して印刷できます。

1 印刷の準備をする ➔ P.37

2 印刷メニューを選ぶ

❶［メモリーカード］を押します。

❷［◀］か［▶］で〈まとめて印刷〉を選び、［OK］を押します。
写真選択画面が表示されます。

3 写真ごとに印刷枚数を指定する

❶［◀］か［▶］で印刷したい写真を表示します。

❸ 手順❶、❷を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷枚数を指定します。

❹［OK］を押します。
印刷確認画面が表示されます。

4 印刷を開始する

❶ 印刷設定を確認します。
設定内容を変更するときは、［用紙／設定］を押してください。➔ P.21

❷［カラースタート］を押します。
写真ごとに指定した部数で印刷されます。

便利な印刷機能を使う

メモリーカードから印刷する操作には、次のような機能があります。

- 1枚の用紙に複数の写真を貼り込んで印刷する−レイアウト印刷 ➔P.40
- シール紙に印刷する−シール紙印刷 ➔P.41
- その他の印刷機能➔P.42
- フォトナビシートを使って印刷する ➔P.44

1 枚の用紙に複数の写真を貼り込んで印刷する−レイアウト印刷

指定したレイアウトに、好きな写真を貼り付けて印刷できます。

1 印刷の準備をする ➔ P.37

2 印刷メニューを選ぶ

❶［メモリーカード］を押します。

❷［◀］か［▶］で〈いろいろな印刷〉を選び、［OK］を押します。

❸［◀］か［▶］で〈レイアウト印刷〉を選び、［OK］を押します。

3 レイアウトを指定する

❶［◀］か［▶］でレイアウトを指定し、［OK］を押します。
以下のレイアウトが選べます。

フチあり： 2/4/8 面、絵はがき、絵はがき（罫線）
フチなし： 2/4/8 面、絵はがき、絵はがき（罫線）
アルバム： アルバム 4 面（右）、アルバム 4 面（左）
ミックス： ミックス 1、ミックス 2、ミックス 3

- 〈絵はがき〉、〈絵はがき（罫線）〉に設定すると、用紙サイズは〈はがき〉に設定されます。
- フチなしを設定したときは、用紙の種類で〈普通紙〉は設定できません。
- 〈ミックス 1〉、〈ミックス 2〉、〈ミックス 3〉は用紙サイズが〈A4〉または〈レターサイズ〉に設定されているときのみ選べます。

4 貼り込み方法を指定する

❶［▲］か［▼］で貼り込み方法を指定します。
〈すべて貼り込む〉を選んで［OK］を押すと、メモリーカードに保存されている写真がすべて指定したレイアウトへ自動的に貼り込まれます。手順 6 へ進んでください。
〈1 枚ずつ指定〉を選んで［OK］を押すと、写真選択画面が表示されます。

5 写真を 1 枚ずつ貼り込む

❶［◀］か［▶］で貼り込む写真を表示し、［OK］を押します。

❷ 手順 ❶ を繰り返し、写真を貼り込みます。
[戻る] を押すと、直前に貼り込んだ写真を取り消します。
[ストップ／リセット] を押すと、貼り込んだすべての写真を取り消します。

❸ 貼り込みが終了したら、［OK］を押します。
印刷確認画面が表示されます。

貼り込みの操作は、複数ページに貼り込むことはできません。1 ページの貼り込みが終了後、印刷を開始してください。

6 印刷を開始する ➔ P.38

シール紙に印刷する ーシール紙印刷

お気に入りの写真にフレームを付けて、キヤノン専用のシール紙に印刷できます。

1 印刷の準備をする ➔ P.37

一度にセットできる枚数は 1 枚です。

2 印刷メニューを選ぶ

❶［メモリーカード］を押します。

❷［◀］か［▶］で〈いろいろな印刷〉を選び、［OK］を押します。

❸［◀］か［▶］で〈シール紙印刷〉を選び、［OK］を押します。

3 印刷したいシール紙に合わせてレイアウトを選ぶ

❶［◀］か［▶］でレイアウトを選びます。
各シール紙に対応したレイアウトは以下の通りです。

ピクサスプチシール PS-101：16 面シール

フォトシールセット PSHRS：2 面シール、4 面シール、9 面シール、16 面シール

ピクサスプチシール・フリーカット PS-201：フリーカットシール 1、フリーカットシール 2、フリーカットシール 3、フリーカットシール 4

❷［OK］を押します。
写真選択画面が表示されます。

4 印刷したい写真を選ぶ

❶ [◀] か [▶] で印刷する写真を表示し、[OK] を押します。
フレーム選択画面が表示されます。

5 フレームを選ぶ

❶ [◀] か [▶] でフレームを選び、[OK] を押します。
印刷確認画面が表示されます。

- [◀] か [▶] でフレームを選ばないと、フレームのない写真が印刷されます。フレームなしで印刷する場合は、そのまま [OK] を押してください。
- 写真が逆さまのときは、[▲] か [▼] で写真を 180度回転させると、フレームの上下に合わせて印刷できます。

6 印刷を開始する → P.38

用紙サイズ、用紙の種類、フチのあり／なし、または日付のあり／なしは設定できません。

その他の印刷機能

〈いろいろな印刷〉には、他にも以下のような印刷メニューがあります。

■ 〈すべてを印刷〉

メモリーカードに保存されている写真をすべて印刷します。

■ 〈インデックス印刷〉

メモリーカードに保存されているすべての写真の一覧が印刷されます。

1 枚の用紙に印刷される写真の面数は、用紙サイズにより以下のようになります。

- ・A4：80 面
- ・L 判：15 面
- ・2L 判：35 面
- ・はがき：24 面
- ・カード／名刺：6 面
- ・六切：72 面
- ・レターサイズ：80 面

■ 〈DPOF 印刷〉

デジタルカメラで DPOF（Digital Print Order Format）の設定を行った場合、設定した内容にしたがった印刷が自動で行えます。

- 本機では、以下の DPOF 機能に対応しています。

対応画像形式：	CIFF、Exif、JFIF
プリントスタイル - スタンダードプリント：	DPOF でスタンダードプリントを指定した写真を印刷

メモリーカードから印刷してみよう

プリントスタイル - インデックスプリント：	DPOF でインデックスプリントを指定した写真を、本機のインデックス印刷のレイアウトに合わせて印刷
印刷写真の指定：	DPOF で指定した写真のみ印刷（操作パネルから指定できません）
印刷枚数の指定：	DPOF で指定した枚数を印刷（操作パネルから指定できません）

上記以外の機能（写真のコメントやタイトル、トリミング、写真回転など）には対応していません。

- 印刷は用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。用紙サイズにより、写真の上下左右がカットされて印刷される場合があります。
- 撮影日の日付並び順は、DPOF の設定にしたがって印刷されます。

1 印刷の準備をする ➔ P.37

2 印刷メニューを選ぶ

❶［メモリーカード］を押します。

❷［◀］か［▶］で〈いろいろな印刷〉を選び、［OK］を押します。

❸［◀］か［▶］で印刷メニューを選び、［OK］を押します。

- 〈インデックス印刷〉では、印刷方法を指定する画面が表示されます。
  ［▲］か［▼］で印刷方法を選び、［OK］を押します。

3 印刷を開始する ➔ P.38

- 〈すべてを印刷〉では、メモリーカードに保存されているすべての写真が印刷されます。
- 〈インデックス印刷〉では、メモリーカードに保存されているすべての写真が一覧で印刷されます。
- 〈DPOF 印刷〉では印刷する部数は選べません。
- 〈DPOF 印刷〉では、メモリーカードに保存されている DPOF の設定情報にしたがって、写真が印刷されます。

フォトナビシートを使って印刷する

本機では、フォトナビシートにマークを付けて印刷の設定をして、印刷したい写真を選ぶことにより、かんたんに写真を印刷することができます。マークを付けたフォトナビシートを読み込む（スキャンする）と、選択された画像が印刷されます。

1 印刷の準備をする

❶ 本機の［電源］を押して電源を入れます。➔ P.10

❷ A4 の用紙をセットします。➔ P.12

フォトナビシートを印刷するときは、白い紙を使用してください。

❸ メモリーカードをカードスロットにセットします。➔ P.34

2 フォトナビシートメニューを選ぶ

❶ ［フォトナビシート］を押します。
フォトナビシートメニューが表示されます。

❷ ［◀］か［▶］で〈フォトナビシート印刷〉を選び、［OK］を押します。

3 印刷する画像データの範囲を選ぶ

❶ ［◀］か［▶］でフォトナビシートに印刷する画像データの範囲を選び、［OK］を押します。
以下の範囲が選べます。

すべてを印刷：　すべての画像をフォトナビシートに印刷します。
印刷枚数を指定：　枚数を指定して印刷します。
日付を指定：　画像の日付の範囲を指定して印刷します。

〈すべてを印刷〉を選んだ場合：

❷ 手順 4 に進みます。

〈印刷枚数を指定〉を選んだ場合：

❷ ［▲］か［▼］で、最新の画像データを基準にして何枚めまで印刷するか指定し、［OK］を押します。

❸ 手順 4 に進みます。

〈日付を指定〉を選んだ場合：

❷ ［◀］か［▶］で絞り込む範囲の一番古い撮影日を指定し、［OK］を押します。

❸ ［◀］か［▶］で絞り込む範囲の一番新しい撮影日を指定し、［OK］を押します。

❹ 手順 4 に進みます。

メモリーカードに保存されている写真数によっては、日付指定画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

4 フォトナビシートの印刷を開始する

❶ ［カラースタート］を押します。
フォトナビシートが印刷されます。

37 枚以上の画像を印刷する場合は、複数枚のフォトナビシートが印刷されます。

Canon フォトナビシート

良い例　悪い例

1. 印刷の設定　印刷する用紙のサイズ／種類、オプションを選択してください（濃い鉛筆などで ○ を塗りつぶす）

右から一つを選択　L判 フォト紙　2L判 フォト紙　フォトはがき　インクジェットはがき　A4 フォト紙　A4 普通紙

フチなし

フチあり

オプション　日付印刷　自動写真補正　顔明るく補正

2. 写真の選択・部数　すべての写真を 1 部ずつ印刷

3. 写真の印刷　1: 印刷用紙をオートシートフィーダにセットする　2: 次の順番でボタンを押す［フォトナビシート］➔［▶］➔［OK］　3: このフォトナビシートを原稿台ガラスにのせ、［OK］を押す

このフォトナビシートを再印刷

用紙サイズや印刷形式を選びます。

必要に応じて、日付印刷や自動写真補正などを選びます。➔ P.23、➔ P.24

すべての画像を 1 部ずつ印刷したいときにマークを付けます。

※ マークを付けると各画像の部数にマークを付けても無効になり、すべて 1 部ずつ印刷されます。

印刷したい部数を選びます（画像の下にあるマークを塗りつぶします）。

印刷手順を確認し、実行します。

フォトナビシートをもう一度、印刷します。

※ マークをつけると他のマークはすべて無効になります。

5 フォトナビシートにマークを付ける

濃い鉛筆などで塗りつぶして写真の選択や設定をします。

良い例

悪い例

チェックマーク

線のみ

うすい

重要

- 各項目で、もれがないように必ずマークを塗りつぶしてください。
- フォトナビシートが複数枚あるときは、それぞれのシートのマークを塗りつぶしてください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。

6 フォトナビシートを読み込み、写真を印刷する

1. フォトナビシートで選んだ用紙をセットします。➔ P.12

フォトナビシートを使って画像を印刷する場合の用紙の種類は、L 判、2L 判、はがき、A4 を選ぶことができます。

2. ［フォトナビシート］を押します。
3. ［◀］か［▶］で〈シート読み取り＆印刷〉を選び、［OK］を押します。
4. 原稿台ガラスに、フォトナビシートをセットし、［OK］を押します。
   マークを塗りつぶした面を下にして、フォトナビシートの左上隅を原稿台ガラスの右下隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせます。
5. フォトナビシートが読み込まれ、指定した写真が印刷されます。

重要

- 液晶モニターに〈フォトナビシートの読み取りに失敗しました〉と表示された場合は、［OK］を押してフォトナビシートにチェックマークもれがないか、またはフォトナビシートの向きや位置を確認してください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。
- 印刷中にメモリーカードを抜かないでください。
- 原稿台ガラスが汚れている場合、読み込まれないことがあります。➔ P.81

参考

- 印刷を中止したい場合は、［ストップ／リセット］を押します。
- 2 枚目以降のフォトナビシートを使用して印刷したいときは、手順 5 からおこなってください。
- フォトナビシートから写真を印刷する前に、いったんメモリーカードを抜いてセットし直した場合、印刷が開始されるまで時間がかかる場合があります。

画像の読み込みについて

画像の読み込み（スキャン）をするためには、パソコンと接続していることが必要です。

原稿台ガラスから読み込んだ（スキャンした）画像を、電子データとしてパソコンに保存できます。スキャンした画像は、JPEG、TIFF、ビットマップなどの一般的なデータ形式でパソコンに保存できます。パソコンに保存した画像データは、画像処理ソフトウェアでかんたんに加工できます。また、OCR ソフトウェアを利用すれば、読み込んだ文字原稿をテキストデータに変換することも可能です。

詳しくは、『操作ガイド（パソコン操作編）』または『スキャナガイド』を参照してください。

PictBridge対応機器から印刷する

PictBridge 対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などをお使いのときは、本機と PictBridge 対応機器を各社推奨の USB ケーブルで接続して、直接写真を印刷することができます。

本機に接続できるカメラについて

- PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像をパソコンを介さずに直接プリンタで印刷するための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本機と接続して画像を印刷することができます。
- カメラや携帯電話の液晶モニターなどで、印刷する画像の指定や、さまざまな印刷の設定を行うことが可能です。
- キヤノン Bubble Jet Direct 対応（PictBridge 非対応）のデジタルカメラやデジタルビデオカメラをお使いのときは、カメラ付属の専用ケーブルで本機と接続して印刷することができます。詳しくは、「キヤノン Bubble Jet Direct 対応カメラから印刷する」（P.54）を参照してください。

＊ 以降、PictBridge に対応しているデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などを総称して、PictBridge 対応機器と呼びます。

＊ PictBridge に関する最新情報についてはキヤノンホームページでご確認いただけます。canon.jp/pictbridge にアクセスしてください。

PictBridge 対応機器を接続する

本機に PictBridge 対応機器を接続するときは、各社推奨の USB ケーブルを使用します。

⚠ 警告

本機のカメラ接続部には、PictBridge 対応機器、キヤノン Bubble Jet Direct 対応のカメラ、または Bluetooth ユニット BU-20（オプション）以外は、接続しないでください。火災や感電、本機の損傷の原因となる場合があります。

PictBridge 対応機器を接続して印刷する場合、PictBridge 対応機器の電源は、家庭用電源をお使いになることをお勧めします。バッテリーをお使いになるときは、フル充電されたバッテリーをお使いください。

1 本機の準備をする

本機に付属の『かんたんスタートガイド』の操作にしたがって、本機を印刷できるように準備してください。

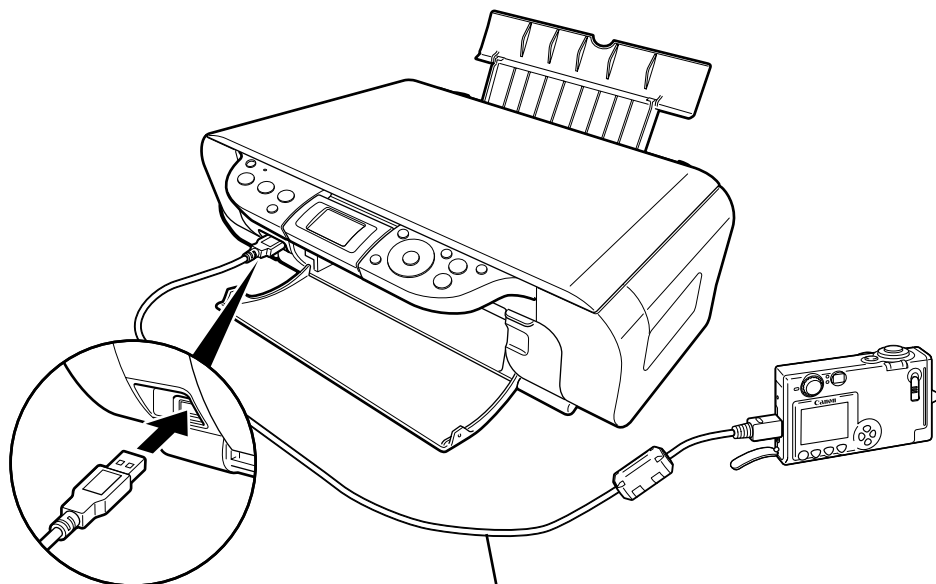
PictBridge 対応機器の操作でプリントヘッド位置を調整することはできません。プリントヘッドの位置調整をしていない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.79）を参照し、プリントヘッドの位置を調整してください。

2 本機の電源を入れ、用紙をセットする→ P.10、→ P.12

3 本機と PictBridge 対応機器を接続する

PictBridge 対応機器から印刷する場合、ご使用の機器の機種により、接続する前に PictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。

ご使用の機器に付属の使用説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。

❶ PictBridge 対応機器の電源が切れていることを確認します。

❸ PictBridge 対応機器から印刷できる状態にします。
本機の接続が確認されると、PictBridge 対応機器の液晶モニターに以下のマークが表示されます。

：PictBridge 対応機器です。➔ P.51

：キヤノン Bubble Jet Direct 対応のカメラです。➔ P.54

マークが表示されない場合は、「デジタルカメラからうまく印刷できない」（P.93）を参照してください。

PictBridge 対応機器から印刷する

操作については、必ずご使用の機器に付属の使用説明書にしたがってください。ここでは、本機を使用したときに PictBridge 対応機器で設定できる用紙サイズ（ペーパーサイズ）や用紙タイプ（ペーパータイプ）、レイアウト、イメージオプティマイズ、日付／画像番号（ファイル番号）印刷について説明します。

■ カメラ側で PictBridge の印刷設定を確認／変更するには

使用する用紙サイズ（ペーパーサイズ）や用紙タイプ（ペーパータイプ）などを変更するときは、PictBridge 対応機器側の操作で PictBridge の印刷設定を開始し、設定内容を確認／変更してください。

下記の設定項目は、PictBridge 対応機器を接続しているときに本機側のメモリーカードモードの［用紙／設定］を押して変更することができます。ただし、用紙／設定（メモリーカード）画面で変更できるのは、機器側で下記の項目を「標準設定」（本機の設定にしたがう選択項目）にした場合のみです。

PictBridge 対応機器側の項目	本機側の用紙／設定画面
用紙サイズ（ペーパーサイズ）：標準設定	用紙／設定画面でのタブ 1 の ❶❷❹ で変更可能 設定項目について ➔ P.22
用紙タイプ（ペーパータイプ）：標準設定	
レイアウト：標準設定	
イメージオプティマイズ（画像補正）： 標準設定	用紙／設定画面でのタブ 2 で変更可能 設定項目について ➔ P.22

説明している項目について

ご使用の機器によっては、説明している項目が設定できない場合があります。設定できない項目については、説明中に「標準設定」（本機の設定にしたがう選択項目）で明記してある設定にしたがって印刷されます。

※ 説明に使用している名称は、キヤノン製 PictBridge 対応機器を使用したときに表示される名称を例に説明しています。ご使用の機器により設定項目の名称は異なる場合があります。

■ 印刷できる画像データについて

本機で印刷できる画像データは、DCF 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ *、または PNG データです。

* Exif2.21 に対応しています。

■ 「用紙サイズ」(「ペーパーサイズ」)/「用紙タイプ」(「ペーパータイプ」)について

「標準設定」(本機の設定にしたがう選択項目)を選んだときには、本機側のメモリーカードモードで設定している〈用紙サイズ〉〈用紙の種類〉で印刷されます。

※ プロフェッショナルフォトペーパーに印刷するときは PictBridge 対応機器側で「用紙タイプ」(または「ペーパータイプ」)を「高級フォト」に、スーパーフォトペーパーに印刷するときは「用紙タイプ」(または「ペーパータイプ」)を「フォト」に設定してください。

「用紙サイズ」(または「ペーパーサイズ」)と「用紙タイプ」(または「ペーパータイプ」)の設定で、本機にセットできるのは以下の用紙です。

「用紙サイズ」(「ペーパーサイズ」)	「用紙タイプ」(「ペーパータイプ」)	本機にセットする用紙
L 判(標準設定)	フォト(標準設定)	スーパーフォトペーパー SP-101 L
	フォト	スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 L
		エコノミーフォトペーパー EC-101 L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 L
2L 判	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 2L
		スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 2L
		エコノミーフォトペーパー EC-101 2L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 2L
はがき *3	フォト	フォト光沢ハガキ KH-201N
		ピクサスプチシール PS-101 *2
		ピクサスプチシール・フリーカット PS-201 *2
		フォトシールセット PSHRS *2
	高級フォト	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
カード	フォト	エコノミーフォトペーパー EC-101 カード
六切	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 六切
8.9 × 25.4cm *1	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 パノラマ
A4 *3 *4	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 A4
		スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 A4
		キヤノン光沢紙 GP-401 A4
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 A4

*1 パノラマサイズです。キヤノン製 PictBridge 対応機器のみ設定できます(機種によっては設定できない場合があります)。

*2 専用のシール紙です。シール紙に印刷する場合は「用紙サイズ」(または「ペーパーサイズ」)で「はがき」を設定します。

*3「用紙サイズ」(または「ペーパーサイズ」)で「はがき」または「A4」を選択したときは、「用紙タイプ」(または「ペーパータイプ」)で「普通紙」を選択することができます。また、「用紙タイプ」(または「ペーパータイプ」)で「普通紙」が選択されていると「レイアウト」で「フチなし」を選んでもフチありで印刷されます。

*4「用紙サイズ」(または「ペーパーサイズ」)で A4 を選択したときは、写真を 4 面に配置して印刷することができます。

■ **「レイアウト」／「トリミング」について**

「標準設定」（本機の設定にしたがう選択項目）を選んだときには、本機側のメモリーカードモードの〈フチ指定〉の設定にしたがって印刷されます。「トリミング」は PictBridge 対応機器側の設定にしたがいます。

シール紙に印刷する場合

ピクサスプチシール PS-101（16 面）、ピクサスプチシール・フリーカット PS-201、フォトシールセット PSHRS（2 面、4 面、9 面、16 面）に印刷するときは、以下のように設定してください。

1. シール紙をオートシートフィーダにセットします。
2. 「用紙サイズ（ペーパーサイズ）：はがき」「用紙タイプ（ペーパータイプ）：フォト」に設定します。
3. 「レイアウト」から「複数画像」を選び、印刷するシール紙の面数に合わせて「2」（2 面）、「4」（4 面）、「9」（9 面）、「16」（16 面）を設定します。

※ ご使用の PictBridge 対応機器により、「レイアウト」を選んだときに、選択項目として「2 面配置」「4 面配置」「9 面配置」「16 面配置」と表示される場合があります。印刷するシール紙の面数に合わせて設定してください。

※ PictBridge 対応機器側で「2 面」「4 面」「9 面」「16 面」に該当する選択項目がない場合は、専用のシール紙に印刷することはできません。

※ シール紙に印刷するときは、「レイアウト」で「フチなし」を設定しないでください。

■ **「イメージオプティマイズ」について**

「標準設定」（本機の設定にしたがう選択項目）を選んだときに本機側のメモリーカードモードの用紙／設定画面のタブ2の設定にしたがって印刷されます。各設定については、「各タブの設定項目」（P.22）を参照してください。

また、キヤノン製 PictBridge 対応機器をご使用の場合は、「VIVID」「NR」「VIVID+NR」「顔明るく」が設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。

※「VIVID」は、緑や青色をより鮮やかに印刷します。
「NR」は、「ノイズリダクション」の略で、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを除去します。
「VIVID+NR」は、「VIVID」と「NR」の両方を設定します。
「顔明るく」は、逆光画像を補正して印刷します。

■ **「日付／画像番号（ファイル番号）印刷」について**

「標準設定」（本機の設定にしたがう選択項目）を選んだときには、「切 （印刷しない）」が設定されています。

※ PictBridge 対応機器側で、撮影するときに日付を写し込む機能が設定されているときには、「切」に設定してください。 「日付」、「画像番号」（または「ファイル」）、「両方」に設定すると、日付や画像番号（ファイル番号）と重なって印刷されます。

- 印刷中は接続ケーブルを絶対に抜かないでください。
  また、PictBridge 対応機器と本機のケーブルを取り外すときは、機器に付属の使用説明書にしたがってください。
- PictBridge 対応機器の操作で、以下の機能は使用できません。
  ・印刷品質の設定
  ・メンテナンス機能

キヤノン Bubble Jet Direct 対応カメラから印刷する

キヤノン Bubble Jet Direct 対応デジタルカメラまたはデジタルビデオカメラ（PictBridge 非対応機種）から印刷できる用紙、印刷のしかたについて説明します。

- 本機に対応のデジタルカメラを接続するときは、カメラに付属の USB ケーブル（パソコン接続用）を使用します。接続のしかたについては、「PictBridge 対応機器から印刷する」の「PictBridge 対応機器を接続する」（P.49）を参照してください
- キヤノン Bubble Jet Direct 対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラの機種については、『操作ガイド（パソコン操作編）』の「仕様」を参照してください。

ダイレクト印刷に使用できる用紙について

使用できる用紙は、キヤノン製の以下の専用紙です。

デジタルカメラの用紙（ペーパー）設定	本機にセットする用紙
L 判	スーパーフォトペーパー SP-101 L
	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 L
	スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 L
	エコノミーフォトペーパー EC-101 L
	エコノミーフォトペーパー EC-201 L
2L 判	スーパーフォトペーパー SP-101 2L
	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 2L
	スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 2L
	エコノミーフォトペーパー EC-101 2L
はがきサイズ	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
A4	スーパーフォトペーパー SP-101 A4
	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 A4
	スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 A4
	キヤノン光沢紙 GP-401 A4
カードサイズ	エコノミーフォトペーパー EC-101 カード

デジタルカメラまたはデジタルビデオカメラから印刷を開始する

本機とカメラを接続後、印刷を開始するときには、以下の操作にしたがってください。

※ デジタルカメラの操作については、デジタルカメラに付属の使用説明書を参照してください。印刷時のエラー表示と対処方法については、「デジタルカメラからうまく印刷できない」（P.93）を参照してください。

※ デジタルビデオカメラの操作、印刷時のエラー表示と対処方法については、デジタルビデオカメラに付属の使用説明書を参照してください。

1. デジタルカメラの再生モードで、印刷したい画像を表示します。
   再生モードに切り替わらないときは、デジタルカメラに付属の使用説明書にしたがって再生モードに切り替えてください。
   正しく接続されると、カメラの液晶モニターにが表示されます。
2. デジタルカメラの［SET］ボタンを押すと、デジタルカメラの液晶モニターに［プリント設定］画面が表示されます。
3. ［スタイル］を選び、用紙サイズ（ペーパー）、フチのあり／なし、日付印刷のオン／オフなどを指定します。
4. スタイルを設定後、印刷枚数を指定して［プリント］を選び、デジタルカメラの［SET］ボタンを押します。

- デジタルカメラの操作で、以下の印刷ができます。
  - ・シングル再生またはインデックス再生中の画像をスタンダードプリントできます。
  - ・DPOF のプリント設定で、写真に設定した枚数を印刷したり、インデックスプリントすることができます。
    ＊DCF 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ以外は、インデックスプリントできない場合があります。
  - ・Exif 2.2 以上に対応したデジタルカメラで撮影した画像は、ExifPrint 機能で自動的に補正します。
  - ・デジタルカメラで日付指定を有効にしている写真（インデックスプリントを除く）は、日付付きで印刷されます。
  - ・デジタルカメラで撮影した画像は、用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小して印刷します。
- デジタルカメラの操作で、以下の機能は使用できません。
  - ・印刷品質の設定
  - ・メンテナンス機能
- デジタルカメラと本機のケーブルを取り外すときは、以下の操作にしたがってください。
  ①本機側のケーブルを取り外す
  ②デジタルカメラの電源を切る
  ③デジタルカメラ側のケーブルを取り外す
  　ケーブルを取り外すときは、必ずコネクタの側面を持って取り外してください。

ワイヤレス通信対応機器から印刷する

本機は、携帯電話から赤外線通信を利用してワイヤレスで手軽に写真を印刷することができます。またオプションの Bluetooth ユニット BU-20 を使用すると、Bluetooth 通信機能がある携帯電話からワイヤレスで印刷することができます。

■ **赤外線通信で印刷するときは**
印刷する用紙やレイアウトを設定する ➔ 下記参照
赤外線通信で印刷する ➔ P.58

■ **Bluetooth 通信で印刷するときは**
印刷する用紙やレイアウトを設定する ➔ 下記参照
Bluetooth 通信で印刷する ➔ P.60

印刷する用紙やレイアウトを設定する

赤外線通信や Bluetooth 通信を利用して携帯電話から写真を印刷するときは、〈ワイヤレス印刷設定〉で用紙サイズや用紙の種類、レイアウトなどを設定します。Bluetooth 通信を利用してパソコンから印刷する方法については、『Bluetooth ユーザーズガイド』を参照してください。

※ お買い上げ時から何も設定を変更していない場合は、スーパーフォトペーパー SP-101L に、フチなしで印刷する設定になっています。

■ ワイヤレス印刷設定画面の表示と設定の操作について

1 本機の［電源］を押して電源を入れる ➔ P.10

2 ワイヤレス印刷設定画面を表示する

❶［メニュー］を押します。

❷［◀］か［▶］で〈メンテナンス / 各設定〉を選び、［OK］を押します。

❸［◀］か［▶］で〈各設定〉を選び、［OK］を押します。

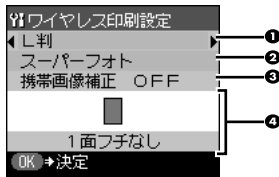
❹［▲］か［▼］で〈ワイヤレス印刷設定〉を選び、［OK］を押します。
ワイヤレス印刷設定画面が表示されます。

3 設定を確認／変更する

❶［▲］か［▼］で設定する項目にカーソルを合わせます。

❷［◀］か［▶］で選択項目を表示します。

❸ 必要な項目を設定後、［OK］を押します。
設定した内容で、携帯電話の写真を印刷できます。

■ 各設定項目について

❶ 携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズを設定できます。

❷ 携帯電話の写真を印刷するときの用紙の種類を設定できます。

携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズと用紙の種類については、「本機で使用できる用紙の種類」（P.12）を参照してください。

❸ 〈携帯画像補正 ON〉を選ぶと、輪郭のギザギザをなめらかに補正して印刷できます。

❹ 携帯電話の写真を印刷するとき、用紙に合わせてレイアウトを設定できます。

- シール紙に印刷
  16 面シール、9 面シール、4 面シール、2 面シール、フリーカットシール 1、フリーカットシール 2、フリーカットシール 3、フリーカットシール 4
- シール紙以外に印刷
  フチあり：1/2/4/8 面
  フチなし：1/2/4/8 面
  ミックス：ミックス 1、ミックス 2、ミックス 3

〈ミックス 1〉、〈ミックス 2〉、〈ミックス 3〉は用紙サイズが〈A4〉または〈レターサイズ〉に設定されているときのみ選べます。

シール紙に印刷するには

キヤノン専用のシール紙で印刷するときは、以下のように設定してください。

用紙の名称	用紙サイズ	用紙の種類	レイアウト
ピクサスプチシール PS-101	シール紙	スーパーフォト	16 面シール
ピクサスプチシール・フリーカット PS-201	シール紙	スーパーフォト	フリーカットシール 1、フリーカットシール 2、フリーカットシール 3、フリーカットシール 4
フォトシールセット PSHRS	シール紙	スーパーフォト	印刷するシールに合わせて 2 面シール /4 面シール /9 面シール /16 面シール

赤外線通信で印刷する

携帯電話の写真を赤外線通信で印刷できます。

赤外線通信で印刷を行う場合は、ご使用の携帯電話の使用説明書も参照してください。

1 印刷の準備をする

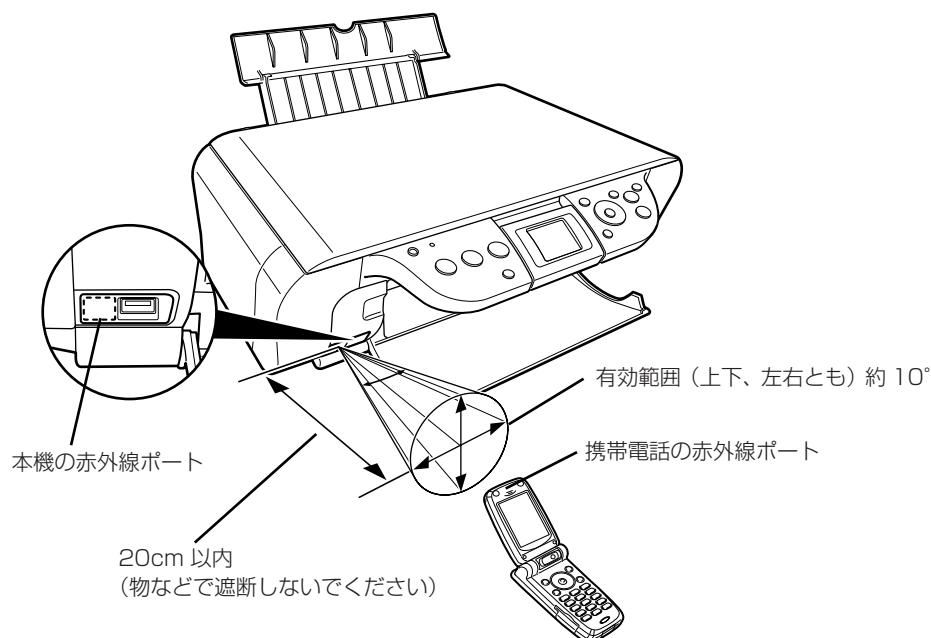
❶ 本機の［電源］を押して電源を入れます。➔ P.10

❷ 用紙をセットします。➔ P.12

2 印刷する用紙やレイアウトを設定する ➔ P.56

3 赤外線通信を開始する

❶ 携帯電話の赤外線ポートを、本機の赤外線ポートと 20cm 以内の距離で正面に向き合うように置きます。

本機の赤外線ポートの有効角度は、左右、上下共に中心軸に対して約 10 度です。ただし、通信相手となる携帯電話によっては、本機との通信可能な距離が異なります。携帯電話に付属の使用説明書で確認してください。

❷ 印刷したい写真を選択し、携帯電話の赤外線ファイル転送機能で、データを本機に送信します。
データの送信が終了すると、印刷が開始されます。

- 携帯電話から赤外線通信で正しく印刷を行うためには、以下の条件を満たしている必要があります。
  ・対応機種：IrDA ポートを搭載し、赤外線通信による画像データ転送に対応した携帯電話
  動作確認済みの携帯電話については、キヤノンピクサスホームページ canon.jp/support でご確認ください。
  ・印刷可能なデータ：携帯電話のカメラで撮影した画像
- 携帯電話から印刷する操作については、携帯電話に付属の使用説明書を参照してください。
- 本機の赤外線ポートと携帯電話の赤外線ポートの間に物などを置いて遮断しないでください。送受信ができなくなります。
- データを受信中は、本機と赤外線通信の接続を切らないように注意してください。もし切れてしまった場合は、もう一度携帯電話からデータを送信してください。
- ご使用の機種により、赤外線による転送容量に制限があるため、最高画質での印刷ができないことがあります。
- 印刷して画像が粗くなるときは、名刺サイズやカードサイズ、シール紙などの小さいサイズの用紙で印刷することをお勧めします。

送信できるデータについて

- 携帯電話のセキュリティ設定のため、ダウンロードしたコンテンツや、メールに添付された URL からダウンロードした写真等は印刷できません。
- 動画は印刷できません。
- 画像の大きさによって送信を開始してから印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。
- ご使用の機種により、メモリーカードに保存したデータは印刷できないことがあります。
- 印刷される画像の品位と印刷される向き（縦または横）は、撮影した画像サイズによって自動的に設定されます。
- 携帯電話で撮影した画像のサイズによっては、フチなしで印刷すると左右と上下の画像が切れたり、フチありで印刷すると左右上下の余白の大きさが変わることがあります。

Bluetooth 通信で印刷する

ここではオプションのBluetooth ユニット BU-20 を使って、携帯電話などのBluetooth 対応機器から写真を印刷する操作手順について説明します。
パソコンから印刷する方法については、『Bluetooth ユーザーズガイド』を参照してください。

OPP（Object Push Profile）または BIP（Basic Imaging Profile）のプロファイルに対応している携帯電話から印刷できます。
ご使用の携帯電話が対応しているプロファイルについては、ご使用の携帯電話に付属の使用説明書をご覧ください。

Bluetooth 通信で印刷する

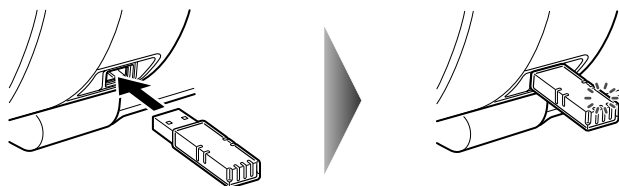
携帯電話から Bluetooth 通信で印刷を行うときは、ご使用の携帯電話の使用説明書もあわせて参照してください。

1 印刷の準備をする

❶ 本機の [電源] を押して電源を入れます。➔ P.10

❷ 用紙をセットします。➔ P.12

2 Bluetooth ユニットを取り付ける

本機のカメラ接続部に Bluetooth ユニットを差し込みます。

3 印刷する用紙やレイアウトを設定する ➔ P.56

4 携帯電話から印刷を開始する

- 機種名を選択する場合は、本機の初期設定「Canon MP450-1」を選んでください。
- パスキーの入力を求められた場合は、初期設定「0000」を入力してください。

機種名やパスキーなどの設定は、本機の Bluetooth 設定画面で変更できます。➔ P.61

- 通信距離は約 10m ですが、以下の状況によって変化する場合があります。また、以下の状況により、印刷速度が変化する場合があります。
  - ・ 通信機器間の障害物や電波状況
  - ・ 磁場、静電気、電波障害の発生する場所
  - ・ 通信する機器の受信感度、アンテナ性能
- 送信できるデータについては「送信できるデータについて」（P.59）を参照してください。

Bluetooth 通信の設定を変更する－ Bluetooth 設定

機種名やパスキーなどの Bluetooth 通信の設定を変更できます。

1 本機の［電源］を押して電源を入れる → P.10

2 Bluetooth ユニットを取り付ける

3 Bluetooth 設定画面を表示する

❶［メニュー］を押します。

❷［◀］か［▶］で〈メンテナンス / 各設定〉を選び、［OK］を押します。

❸［◀］か［▶］で〈各設定〉を選び、［OK］を押します。

❹［▲］か［▼］で〈Bluetooth 設定〉を選び、［OK］を押します。

4 設定を確認／変更する

❶［▲］か［▼］で設定する項目にカーソルを合わせます。

❷［▲］［▼］［◀］［▶］のいずれかで選択項目を選びます。

❸ 必要な項目を設定したあと、［OK］を押します。

各設定項目について

● 〈機種名選択〉：　Bluetooth 対応機器に表示される本機の機種名を設定できます。
ここで〈MP450-2〉に設定すると、Bluetooth 対応機器に表示される本機の機種名が［Canon MP450-2］となります。初期設定は〈MP450-1〉です。

● 〈アクセス拒否設定〉：　〈する〉に設定すると、Bluetooth 対応機器から本機を検索できなくなります。

● 〈セキュリティ設定〉：　〈有効〉に設定すると、パスキーを設定できます。パスキーを設定することで、他の Bluetooth 対応機器からの不正な使用を防ぐことができます。

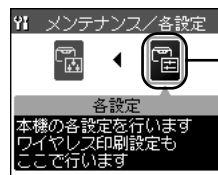
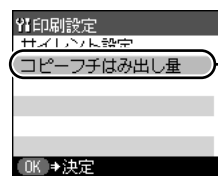
● 〈パスキー変更〉：　パスキーを変更できます。パスキーとは、他の Bluetooth 対応機器からの不正な使用を防ぐために設定する暗証番号です。
初期設定は〈0000〉です。
パスキーを変更すると、今まで印刷できていた Bluetooth 対応機器でパスキーの入力が求められる場合があります。その場合は、変更したパスキーを入力してください。

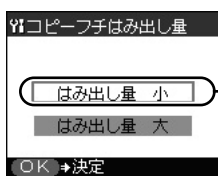
本機の設定を変更する

ここでは、コピーフチはみ出し量を設定する操作を例に、各設定画面の設定変更の手順について説明します。

1 本機の［電源］を押して電源を入れる → P.10

2 ［メニュー］を押す

3 各設定画面を表示させる

4 メニューを選ぶ

5 設定を変更する

印刷設定

■ サイレント設定

夜間など、印刷するときの動作音が気になるときに、印刷時の動作音をおさえます。

重要

- サイレント機能を〈しない〉にしたときに比べ、印刷速度が低下する場合があります。
- 印刷品位の設定によっては、効果が少ない場合があります。
  また、準備動作時の音などは、通常の音と変わりません。

■ コピーフチはみ出し量

フチなし全面印刷のとき、はみ出し量を設定します。

〈はみ出し量　大〉に設定すると、画像の周囲の欠ける量が大きくなります。

ワイヤレス印刷設定

詳しくは、「印刷する用紙やレイアウトを設定する」（P.56）を参照してください。

■ 用紙サイズ

携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズを設定します。

■ 用紙の種類

携帯電話の写真を印刷するときの用紙の種類を設定します。

■ 携帯画像補正

〈携帯画像補正 ON〉を選ぶと、輪郭のギザギザをなめらかに印刷できます。

■ レイアウト

携帯電話の写真を印刷するとき、用紙に合わせてレイアウトを設定します。

〈ミックス 1〉、〈ミックス 2〉、〈ミックス 3〉は用紙サイズが〈A4〉または〈レターサイズ〉に設定されているときのみ選べます。

Bluetooth 設定

詳しくは、「Bluetooth 通信の設定を変更する－ Bluetooth 設定」（P.61）を参照してください。

■ 機種名選択

Bluetooth 対応機器に表示される本機の機種名を設定できます。

■ アクセス拒否設定

〈する〉に設定すると、Bluetooth 対応機器から本機へ通信接続ができなくなります。

■ セキュリティ設定

〈有効〉に設定すると、パスキーを設定できます。

■ パスキー変更

パスキーを変更できます。

その他の設定

■ 日付表示形式

印刷する撮影日の日付の並び順を変更します。

- 用紙／設定（メモリーカード）画面のタブ 1 で〈日付画像番号〉を〈日付のみ印刷〉または〈日付＋画像番号印刷〉に設定しているときは、選択した日付の並び順で撮影日が印字されます。印刷設定については、「用紙／設定画面を変更する」（P.21）を参照してください。
- DPOF 印刷するとき、撮影日の日付の並び順は DPOF の設定にしたがって印刷されます。

■ カード書き込み状態

パソコンからメモリーカードに書き込みできるようにするか選びます。

重要

〈書き込み可能〉に設定した場合は、メモリーカードからの印刷ができなくなります。メモリーカード専用ドライブの操作を終了後、必ず同様の操作で〈書き込み禁止〉に戻してください。

■ パワーセーブ設定

5 分間本機を何も操作しないと、液晶モニターが消灯しパワーセーブが開始されます。 電源ボタン以外の操作パネルのボタンを押すと復帰します。〈5 分〉、〈15 分〉、〈1 時間〉、または〈8 時間〉を選ぶことができますが、パワーセーブが開始されるまでの時間は変わりません。

■ コントラスト調整

液晶モニターのコントラストが濃すぎたり、薄すぎる場合に調整します。

■ スライドショー設定

スライドショーで表示する写真の画質を設定します。

〈画質 標準〉に設定すると 5 秒間隔で表示され、〈画質 きれい〉に設定した場合は、画像の解像度により次の画像表示までの時間が異なります。

言語選択

液晶モニターに表示する言語を変更します。

設定リセット

表示する言語、プリントヘッドの位置以外の設定を、ご購入時の設定に戻すことができます。

用紙設定保存

用紙／設定画面の設定を保存します。

用紙設定呼出

保存した用紙／設定画面の設定を呼び出します。

FINE カートリッジを交換する

クリーニングなど、お手入れを行っても印刷結果が改善されない場合は、インクがなくなっています。FINE カートリッジを交換してください。FINE カートリッジを交換するときは、型番や取り付け位置を間違えると正しく印刷できません。本機では、以下の FINE カートリッジを使用しています。

- ブラック FINE カートリッジ：90 Black BC-90 BC-90 または 70 Black BC-70 BC-70
- カラー FINE カートリッジ　：91 Color BC-91 BC-91 または

BC-71

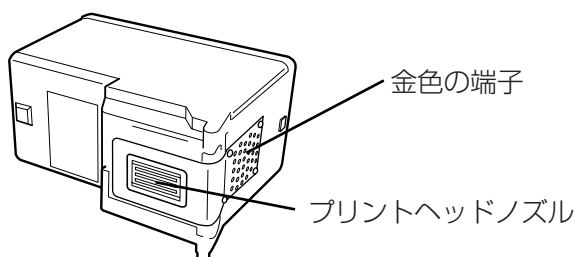
本機には、大容量FINEカートリッジBC-90、BC-91が付属しています。このほか、標準容量のFINEカートリッジBC-70、BC-71が使用できます。

交換の操作

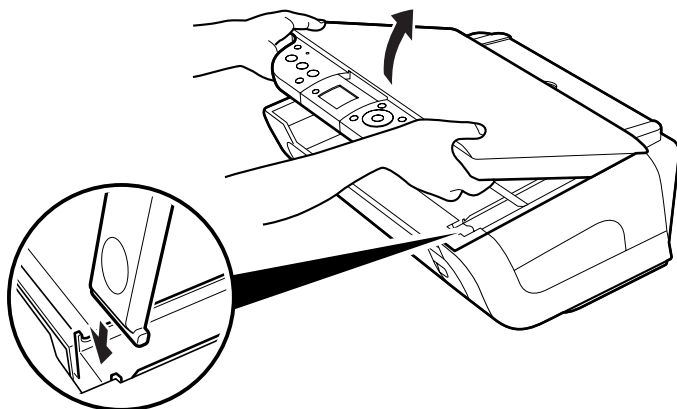
FINE カートリッジのインクがなくなったときは、次の手順で FINE カートリッジを交換します。

重要

FINE カートリッジの取り扱いについて

- FINE カートリッジの金色の端子やプリントヘッドノズルには、手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。

- 最適な印刷品質を保つため、キヤノン製の指定 FINE カートリッジのご使用をお勧めします。また、インクのみの詰め替えはお勧めできません。
- FINE カートリッジの交換はすみやかに行い、FINE カートリッジを取り外した状態で放置しないでください。
- FINE カートリッジは新品のものを装着してください。取り外されていたものを装着すると、ノズルの目づまりなどが原因で正しく印刷できないことがあります。また、インク残量警告を正しく表示できません。
- 最適な印刷品質を保つため、FINE カートリッジは梱包ケースに記載されている「推奨取付年月日」までにプリンタに取り付けてください。また、開封後 6ヶ月以内に使い切るようにしてください（プリンタに取り付けた年月日を控えておくことをお勧めします）。
- 黒のみの文書やグレースケール印刷を指定した場合でも、各色のインクが使われる可能性があります。また、プリンタの性能を維持するために行うクリーニングでも、各色のインクが使われます。インクがなくなった場合は、すみやかに新しい FINE カートリッジに交換してください。
- インクがなくなったときなどは、ブラックまたはカラーのどちらかのインクだけで印刷を行うことができます。詳しくは、『印刷設定ガイド』の「使用するインクカートリッジを設定する」を参照してください。
  なお、ブラックインクまたはカラーインクだけで印刷する場合も、インクの切れたカートリッジを取り付けた状態で印刷してください。カートリッジを取り外した状態では、エラーになり印刷できません。

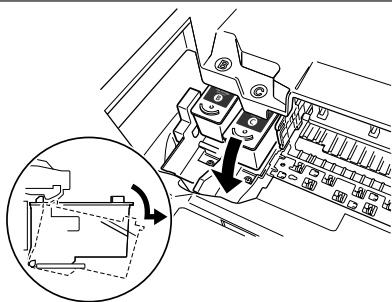
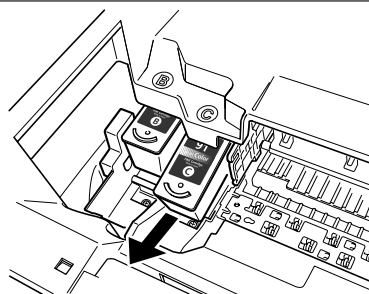
1 本機の電源が入っていることを確認し、スキャナユニット（プリンタカバー）を止まるまで持ち上げ、スキャナユニットサポートで固定する

FINE カートリッジホルダが交換位置に移動します。

注意

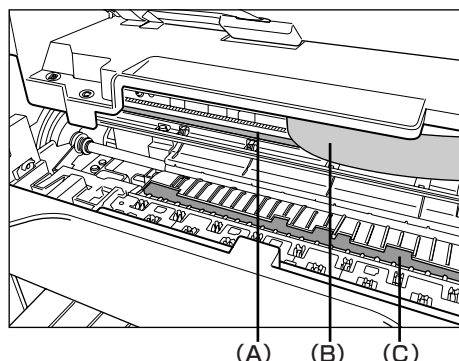
液晶モニターを持たないでください。

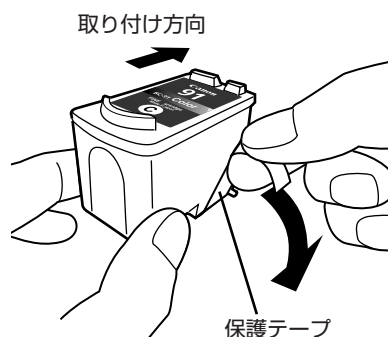
重要

スキャナユニット（プリンタカバー）を 10 分間以上開けたままにすると、FINE カートリッジホルダが右側へ移動します。その場合は、いったんスキャナユニット（プリンタカバー）を閉じ、開け直してください。

2 インクのなくなった FINE カートリッジを取り外す

重要

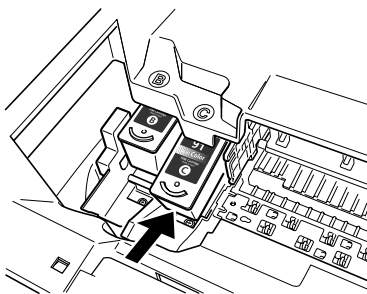
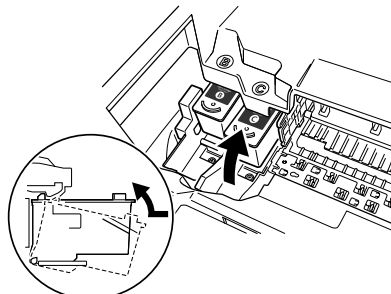
- 衣服や周囲を汚さないよう、FINE カートリッジの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクカートリッジは、地域の条例にしたがって処分してください。また、キヤノンでは使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。詳しくは、「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」（P.72）を参照してください。

- 透明フィルム（A）、フィルムケーブル（B）、廃インク吸収体（スポンジ部分）（C）、そのほかの金属部分には触れないでください。

3 FINE カートリッジを準備する

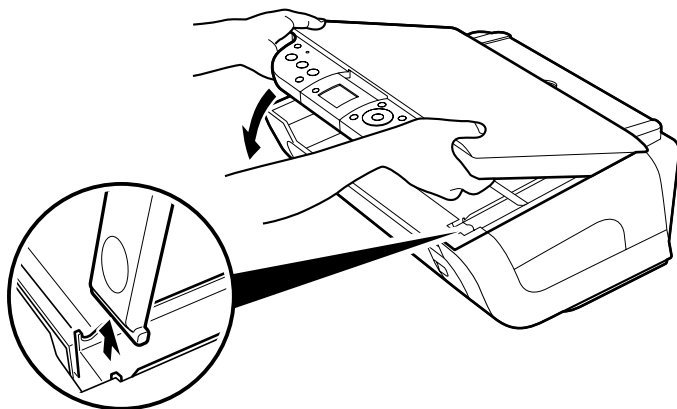
新しいFINE カートリッジをパッケージから取り出し、保護テープを取り外します。

重要

- 取り外した保護テープは、再装着しないでください。
- 保護テープを取り外したあと、金色の端子やプリントヘッドノズルに手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。
- 取り外した保護テープに付いているインクで、手やまわりのものを汚す恐れがあります。ご注意ください。

4 FINE カートリッジを取り付ける

ブラック FINE カートリッジは左側のホルダに、カラー FINE カートリッジは右側のホルダに取り付けます。

2 FINE カートリッジを押し上げて、固定します。

「カチッ」という音がするまで、しっかり押し上げてください。

5 スキャナユニットサポートをたたんで、スキャナユニット（プリンタカバー）をゆっくり閉じる

FINE カートリッジホルダが右側に移動します。

● スキャナユニットサポートをたたむときは、スキャナユニット（プリンタカバー）をしっかりと持ち、指などはさまないように注意してください。
● 液晶モニターは持たないでください。

参考

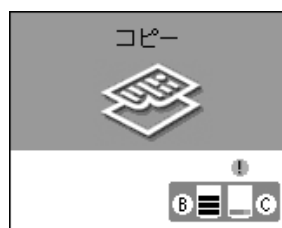
罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。➔ P.79

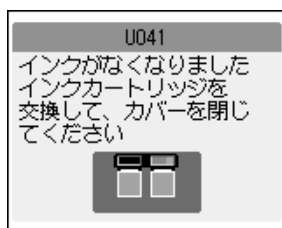
インク残量警告とは

インク残量警告とは、印刷中にインクが少なくなったことを知らせてくれる機能です。

インクカウンタは、実際のインク残量に関係なく、新しい FINE カートリッジを取り付けた時点でインクが満杯とみなして残量をカウントし始めます。このため、新品でない FINE カートリッジを取り付けた場合は、インク残量を正しく表示できない場合があります。

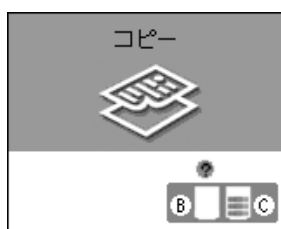
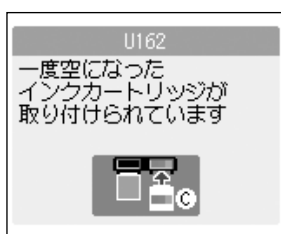
■ FINE カートリッジのインクが少なくなったとき

[コピー]、[スキャン]、または [メモリーカード] を押すと、現在のインク残量が液晶モニターに表示されますので、できるだけ早く交換用の FINE カートリッジを用意してください。

■ FINE カートリッジのインクがなくなったとき

下記のメッセージが液晶モニターに表示されます。

新しい FINE カートリッジに交換してください。

FINE カートリッジを交換して [ＯＫ] を押すと印刷を再開できます。

FINE カートリッジを交換せずに [OK] を押すと、印刷を続けることができます。この状態でしばらく印刷できますが、なるべく早く新しい FINE カートリッジに交換してください。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因になります。

■［?］が表示されたときには

［?］は、新品でない FINE カートリッジを取り付けた場合に表示されます。この場合、インク残量は正しくカウントできません。この状態のときに印刷を行うと、次のメッセージダイアログが表示され、印刷が中断されます。

[OK] を押すと、エラーが解除されて印刷を行えますが、インク残量を検知する機能がオフになるため、以降はインク切れのメッセージが表示されません。インク残量検知の機能は、新しい FINE カートリッジを取り付けると自動的にオンになります。

インク残量を調べる

[コピー]、[スキャン]、または [メモリーカード] を押すと、現在のインク残量が液晶モニターに数秒間表示されます。

使用済みインクカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。

キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に2000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
キヤノンサポートページ　　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

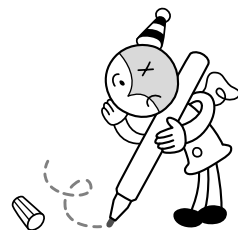
■ 使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動
キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。
ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
環境への取り組み　canon.jp/ecology

きれいな印刷を保つために（プリントヘッドの乾燥・目詰まり防止）

● **電源を切るときのお願い**
本機の電源を切るときには、必ず以下の手順にしたがってください。

①本機の［電源］を押して電源を切る
②操作パネルのランプがすべて消えたことを確認する（数秒から、場合によって約 20 秒かかります）
③電源コードをコンセントから抜く、またはテーブルタップのスイッチを切る

［電源］を押して電源を切ると、プリントヘッド（インクのふき出し口）の乾燥を防ぐために、本機は自動的にプリントヘッドにキャップをします。このため、操作パネルのランプがすべて消える前にコンセントから電源コードを抜いたり、スイッチ付テーブルタップのスイッチを切ってしまうと、プリントヘッドのキャップが正しく行われず、プリントヘッドが、乾燥・目詰まりを起こしてしまいます。

● **長期間お使いにならないときは**
長期間お使いにならない場合は、定期的に（月 1 回程度）印刷することをお勧めします。サインペンが長期間使用されないとキャップをしていても自然にペン先が乾いて書けなくなるのと同様に、プリントヘッドも長期間使用されないと乾燥して目詰まりを起こす場合があります。

印刷にかすれやむらがあるときは

印刷結果がかすれたり、色が正しく印刷されないときには、インクがなくなっているか、プリントヘッド（FINE カートリッジ）のノズルが目づまりしている可能性があります。以下の手順でお手入れを行ってください。

お手入れを行う前に

- FINE カートリッジをいったん取り外し、取り付け直してください。➔ P.66
- プリンタドライバの印刷品質を上げることで、きれいに印刷される場合があります。

Step 1
ノズルチェックパターンの印刷 ➔ P.75

パターンが欠けている場合

Step 2
プリントヘッドのクリーニング ➔ P.77

クリーニング後ノズルチェックパターンを印刷して確認

2 回繰り返しても改善されない場合

Step 3
プリントヘッドの強力クリーニング ➔ P.78

2 回繰り返しても改善されない場合

Step 4
FINE カートリッジの交換 ➔ P.66

罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。➔ P.79

メンテナンスをする

1 **本機の［電源］を押して電源を入れる** → P.10

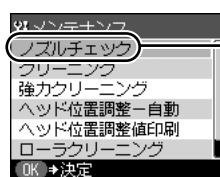
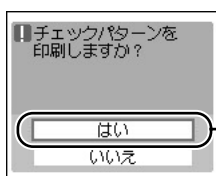
2 **［メニュー］を押す**

3 **メンテナンス画面を表示させる**

ノズルチェックパターンを印刷する

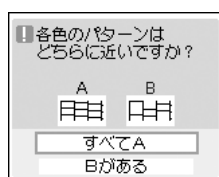
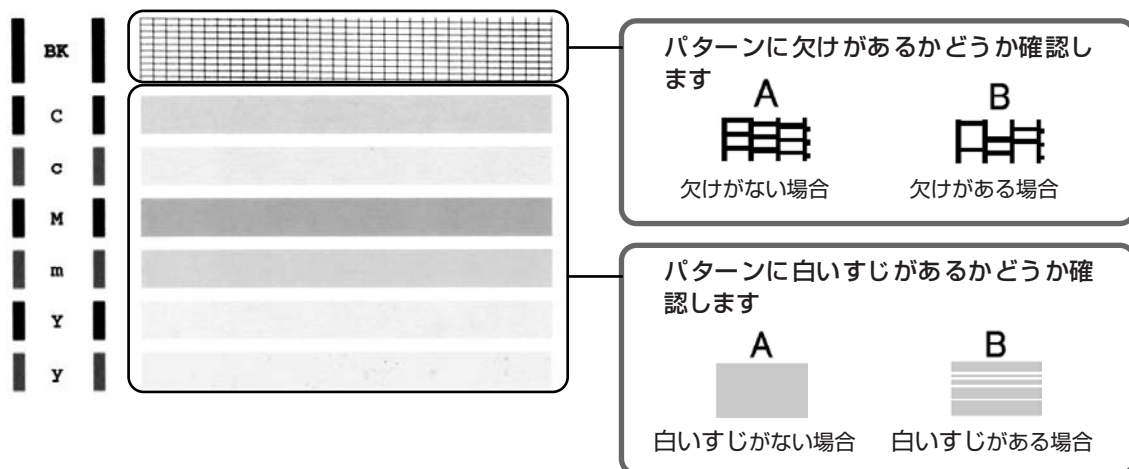
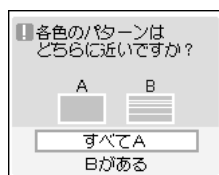
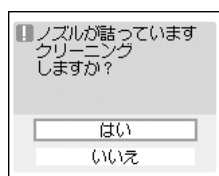
プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷してください。

1 **本機の［電源］を押して電源を入れ、オートシートフィーダに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする** **➔ P.10、➔ P.12**

2 **ノズルチェックパターンを印刷する**

❶ メンテナンス画面を表示させます。➔ P.74

3 **ノズルチェックパターンを確認し、必要な対処をとる** **➔ P.76**

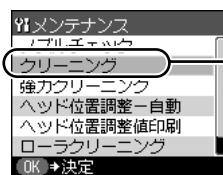
ノズルチェックパターンを確認する

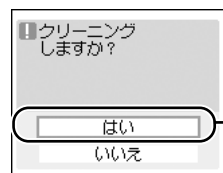
以下の手順でノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合は FINE カートリッジを交換してください。➔ P.66

●パターンに欠け／白いすじがない場合
〈すべて A〉を選んで［OK］を押します。

●パターンに欠け／白いすじがある場合
〈B がある〉を選んで［OK］を押します。
クリーニング確認画面が表示されます。
〈はい〉を選んで［OK］を押し、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。➔ P.77

『操作ガイド（パソコン操作編）』の巻末の「インクが出ない・かすれるときには？」にノズルチェックパターンの良い例、悪い例がカラーで掲載されています。そちらもあわせて参照してください。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンを印刷して、パターンに欠けや白いすじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルの詰まりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。プリントヘッドをクリーニングすると、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

1 本機の［電源］を押して電源を入れる ➔ P.10

2 プリントヘッドをクリーニングする

❶ メンテナンス画面を表示させます。➔ P.74

クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 60 秒かかります。

3 プリントヘッドの状態を確認する

クリーニングが終了すると、ノズルチェックの確認画面が表示されます。

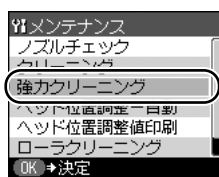
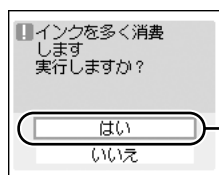
ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認してください。➔ P.75

クリーニングとノズルチェックの操作を 2 回繰り返しても改善されないときには、強力クリーニングを行ってください。➔ P.78

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングを行うと、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗します。必要な場合のみ行ってください。

1 本機の［電源］を押して電源を入れる ➔ P.10

2 プリントヘッドを強力クリーニングする

❶ メンテナンス画面を表示させます。➔ P.74

強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 1 〜 2 分かかります。

3 プリントヘッドの状態を確認する

❶ ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認します。➔ P.75

❷ 改善されない場合は、もう一度手順 2 の操作を行います。

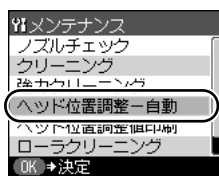
❸ それでも改善されない場合は、インクがなくなっている可能性があります。
FINE カートリッジを交換してください。➔ P.66

プリントヘッド位置を調整する

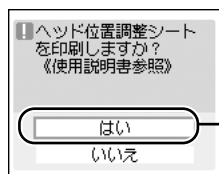
罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、プリントヘッド位置を調整してください。

1　本機の［電源］を押して本機の電源を入れる **➔ P.10**

2　ヘッド位置調整シートを印刷する

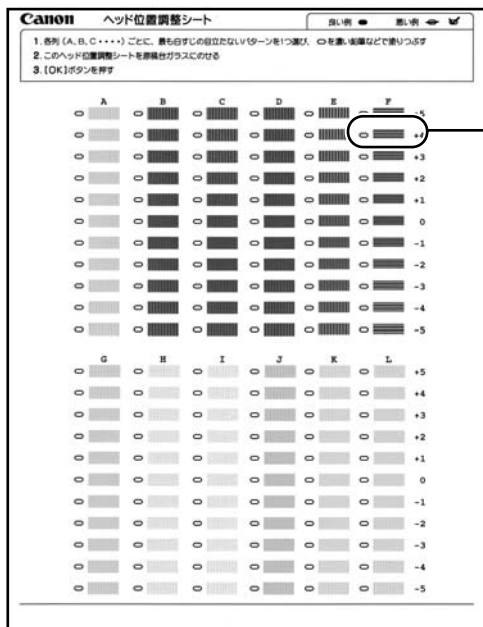
❶ メンテナンス画面を表示させます。➔ P.74

❷ ［▲］か［▼］で〈ヘッド位置調整ー自動〉を選び、［OK］を押します。

確認画面が表示されます。

参考
〈ヘッド位置調整値印刷〉を選ぶと、現在の調整値を印刷できます。

❸ オートシートフィーダにA4サイズの普通紙をセットします。

❹ ［▲］か［▼］で〈はい〉を選び、［OK］を押します。

ヘッド位置調整シートが印刷されます。

3 プリントヘッド位置を調整する

1 ヘッド位置調整シートの各列（A、B、C・・・・）ごとに、最もすじの目立たないパターンを 1 つ選び、“⬭”を濃い鉛筆などで塗りつぶします。

2 原稿台ガラスに、ヘッド位置調整シートをセットします。

マークを塗りつぶした面を下にして、ヘッド位置調整シートの左上隅を原稿台ガラスの右下隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせます。

3 [OK] を押します。

ヘッド位置調整シートを読み取り、プリントヘッド位置が自動的に調整されます。

調整が正しく行えなかったときには、液晶モニターに〈ヘッド位置調整シートの読み取りに失敗しました〉のメッセージが表示されます。「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」(P.85) を参照してください。

清掃する

ここでは、清掃のしかたについて説明します。

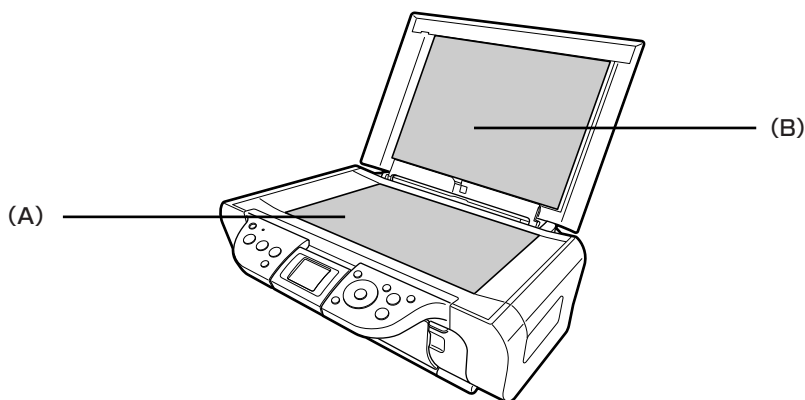
注意

- 清掃をする際は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。本機内部に紙の粉や細かな糸くずなどが残り、プリントヘッドの目詰まりや印刷不良などの原因になることがあります。部品を傷つけないように、必ず柔らかい布を使ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障の原因になります。

原稿台エリアを清掃する

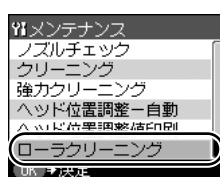
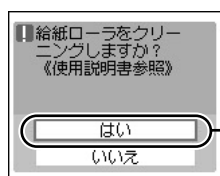
きれいで柔らかく、糸くずの出ない布を用意してください。水に浸し、固くしぼってから、原稿台ガラス（A)、原稿台カバーの裏側（白い部分)（B）の汚れや、ほこりを拭き取ります。そのあと、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ります。とくにガラス面は、拭いたあとが残らないように十分拭き取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めて使ってください。

重要

（B）のシートは傷がつきやすいので、やさしく拭いてください。

ローラを清掃する

用紙がうまく送られないときは、給紙ローラを清掃してください。給紙ローラの清掃は給紙ローラを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

1 本機の［電源］を押して電源を入れ、オートシートフィーダから用紙を取り除く ➔ P.10

2 給紙ローラを清掃する

❶ メンテナンス画面を表示させます。➔ P.74

3 手順２の動作を２回くり返す

4 排紙トレイを開き、オートシートフィーダに A4 またはレターサイズの用紙を３枚以上セットする

5 手順２の動作を３回くり返す

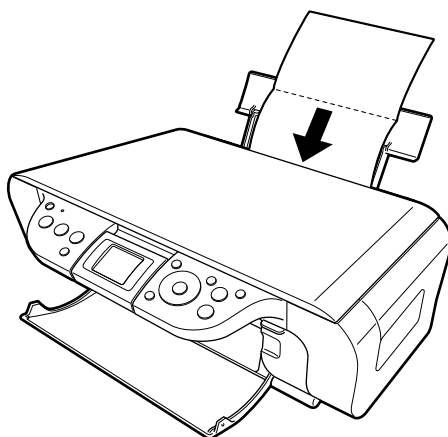
用紙が給紙され、排紙されます。

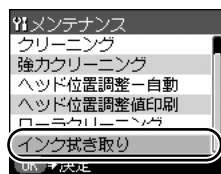
３回以上行っても改善がみられない場合は、お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問合わせください。

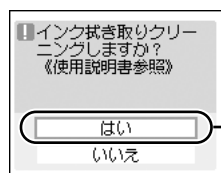
インク拭き取りクリーニングを行う

本機の内部の汚れをとります。本機の内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをお勧めします。

1 本機の［電源］を押して電源を入れ、オートシートフィーダから用紙を取り除く **➔ P.10**

2 A4 の用紙を横半分に折って開き、開いた面が表になるように、オートシートフィーダに 1 枚だけセットする

3 インク拭き取りクリーニングを行う

❶ メンテナンス画面を表示させます。➔ P.74

❷ ［▲］か［▼］で〈インク拭き取り〉を選び、［OK］を押します。

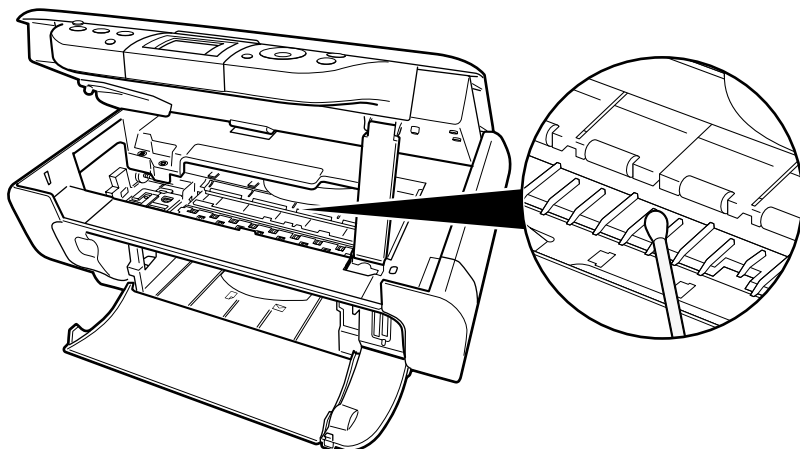
確認画面が表示されます。

❸ ［▲］か［▼］で〈はい〉を選び、［OK］を押します。

用紙が給紙され、排紙されます。
排出された用紙を確認し、インクが付いている場合は再度クリーニングを行います。
再度クリーニングを行ってもインクが付くときは、本機内部の突起が汚れている場合があるので、清掃してください。➔ P.84

インク拭き取りクリーニング中は他の操作をしないでください。

本機内部の突起を清掃する

本機内部の突起が汚れている場合は、綿棒などを使ってインク汚れを丁寧に拭きとってください。

このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。（➔ P.68）印字結果不具合などの原因となります。

困ったときには

本機を使用中にトラブルが発生したときの対処方法について説明します。

ここでは、液晶モニターに表示されるエラーメッセージやデジタルカメラから直接印刷しているときに発生しやすいトラブルを中心に説明します。該当するトラブルが見つからないときには、『操作ガイド（パソコン操作編）』または電子マニュアルを参照してください。

◆液晶モニターにエラーメッセージが表示されている

液晶モニターにエラー／確認メッセージが表示されたときには、以下の対処方法にしたがってください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
メモリーカードに写真がありません	● セットしたメモリーカードに読み込める画像データが保存されていません。 ● 画像ファイル名（フォルダ名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。 ● パソコン上で編集／加工したデータは､必ずパソコンから印刷を行ってください。
用紙がありません	オートシートフィーダに用紙をセットして本機の[OK]を押してください。
用紙が詰まりました	用紙を取り除き、用紙をセットして［OK］を押してください。➔ P.92

インクがなくなりました。インクカートリッジを交換して、カバーを閉じてください U041	FINE カートリッジを交換して、スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じてください。➔ P.66 交換後、罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.79）を参照して、ヘッド位置調整を行ってください。 本機がパソコンに接続されている場合はプリンタドライバを使用してヘッド位置調整を行うこともできます。 ➔『印刷設定ガイド』の「プリントヘッドの位置を調整する」 印刷が完了していない場合は、FINE カートリッジを取り付けたまま本機の［OK］を押すと、インク切れの状態で印刷を続行することができます。印刷が終了したらすぐに新しい FINE カートリッジに交換してください。インク切れの状態で印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなります。
下記のインクカートリッジが認識できません U051 U052 U053 U059	FINE カートリッジが正しく取り付けられていない、または、本機がサポートできない FINE カートリッジが取り付けられています。 スキャナユニット（プリンタカバー）を開けて、FINE カートリッジを正しくセットし直してください。それでもエラーが解決されないときには FINE カートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。
廃インク吸収体が満杯に近づきました	本機は、クリーニング操作などにより、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、本機の［OK］を押すと、エラーが解除されます。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると、廃インク吸収体を交換するまで印刷できなくなります。お早めにお買い求めの販売店または修理受付窓口に本機の点検をご依頼ください（部品の交換が必要です）。
対応していない機器が接続されました	接続しているケーブルを抜いてから、再度ケーブルを接続してください。 PictBridge 対応機器から印刷する場合、ご使用のカメラの機種により、接続する前に PictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。接続しているケーブルを抜いてエラーを解除し、ご使用の機器に付属の使用説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。 それでもエラーが解決されないときは、本機で対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている可能性があります。本機で対応しているデジタルカメラ、デジタルビデオカメラを使用してください。
正しい位置に取り付けられていないインクカートリッジがあります U075 U076	各色の FINE カートリッジの取付け位置に、正しい FINE カートリッジをセットしてください。➔ P.66
ヘッド位置調整シートの読み取りに失敗しました	ヘッド位置調整シートにチェックマークもれがないか、または原稿台ガラスに置く向きや位置を確認してください。 本機がパソコンに接続されている場合はプリンタドライバを使用してヘッド位置調整を行うこともできます。 ➔『印刷設定ガイド』の「プリントヘッドの位置を調整する」

一度空になったインクカートリッジが取り付けられています U162	使用されたことのある FINE カートリッジを取り付けた、または、インクがなくなっている可能性があります。 インク残量を正しく検知できないため、インク残量検知機能は使用できなくなります。 この機能を無効にし、FINE カートリッジを継続して使用する場合は、本機の［OK］を押してください。 優れた印刷結果を得るために、新しいキヤノン純正カートリッジへの交換をお勧めします。

下記のインクカートリッジが認識できません U140	本機がサポートできない FINE カートリッジが取り付けられています。 正しい FINE カートリッジを取り付けてください。

＊＊＊＊ プリンタトラブルが発生しました	サービスが必要なエラーが起こっている可能性があります。本機の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。しばらくしてから、再度本機の電源を入れ直してみてください。それでも回復しない場合は、お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。

スキャナが正常に動作できません	お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。

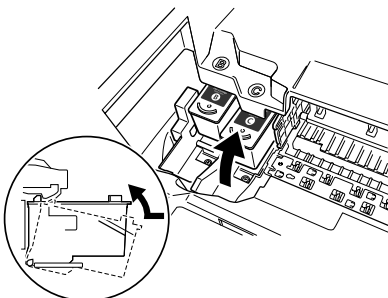
◆液晶表示が見えない／見えにくい

原因	対処方法
液晶表示がはっきりと見えない／見えにくい	液晶モニターのコントラストが強すぎたり、弱すぎる場合には、〈メンテナンス / 各設定〉の〈コントラスト調整〉で液晶モニターのコントラストを調整してみてください。➔ P.62
液晶表示が見えない	● **操作パネルのランプがすべて消えている場合** 電源コードを接続し、本機の [電源] を押すと、電源が入り、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。 ● **電源ランプが点灯している場合** 本機の [電源] 以外の操作パネルのボタンを押してください。

◆日本語以外の言語が表示されている

原因	対処方法
誤って日本語以外の言語に設定してしまった	以下の順で操作パネルボタンを押して、日本語設定に戻して下さい。 ①［コピー］ボタンを押し、コピーモードに切り替える ②［メニュー］→［▶］→［OK］→［▶］→［OK］の順にボタンを押す ③［▼］を 3 回押し、［OK］で言語選択画面を表示する ④［▲］［▼］で［日本語］を選択し、［OK］を押す

◆印刷されない／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る

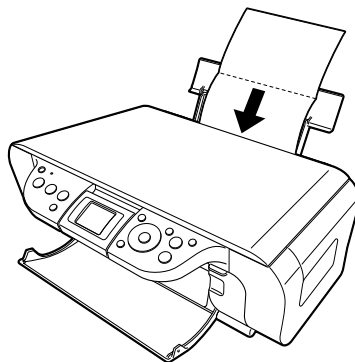
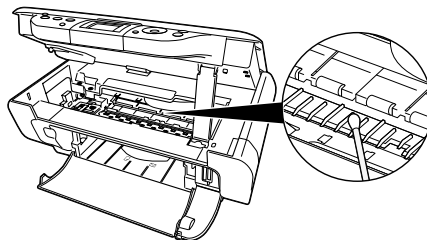
原因	対処方法
FINE カートリッジが正しくセットされていない／インクがない	FINE カートリッジを取り外し、取り付け直してください。接点部分に小さなごみがはさまっていることがあります。その場合 FINE カートリッジを取り付け直すことで、印刷結果が改善されることがあります。 また、保護テープがはがされていることを確認してください。
操作パネルで正しい用紙が選ばれていない	操作パネルで選ばれている用紙の種類が、セットする用紙の種類と合っているか確認してください。
プリントヘッドが目詰まりしている	ノズルチェックパターンを印刷してインクが正常に出ていることを確認してください。 ➔「ノズルチェックパターンを印刷する」（P.75） ● インクが正常に出ていない場合 ➔「プリントヘッドをクリーニングする」（P.77） ➔「プリントヘッドを強力クリーニングする」（P.78）
プリントヘッド位置がずれている	「プリントヘッド位置を調整する」（P.79）を参照して、ヘッド位置調整を行ってください。それでも印刷結果が思わしくない場合は、『印刷設定ガイド』を参照して、プリンタドライバの［ユーティリティ］からヘッド位置調整を行ってください。
用紙の裏表を間違えている	用紙の裏表を間違えてセットしていないかどうか確認してください。
オートシートフィーダにセットできる最大枚数を超えている	用紙が最大枚数、または最大用紙量のマークを超えているときは、用紙を減らしてください。➔P.12
オートシートフィーダに異物が入っている	確認して、異物があるときは取り除いてください。
排紙トレイが閉まっている	排紙トレイを開けてください。

コピーしているとき

原稿が正しくセットされていない	原稿が、原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。 ➔ P.11
コピーしたい原稿に合わせて画質を調節していない	本機の操作パネルで、原稿に合わせて画質を調節してください。➔ P.25
原稿の裏表の向きが正しくセットされていない	原稿台ガラスにセットするときは、コピーする面を下にしてください。
本機で印刷したものを原稿としてセットしている	本機で印刷した原稿をコピーすると、きれいに印刷されないことがあります。デジタルカメラやメモリーカードから印刷し直すか、パソコンから印刷し直してください。
原稿台ガラス、原稿台カバーの裏側が汚れている	原稿台ガラス、または原稿台カバーの裏側を清掃してください。➔ P.81

印刷が途中で止まる

長い時間、連続して印刷している	長時間、印刷を続けていると、プリントヘッドが過熱し、プリントヘッドを保護するため、印刷が一時的に停止します。しばらくすると印刷が再開されます。区切りのいいところで印刷を中断し、電源を切って 15 分以上お待ちください。 ⚠ 注意 プリントヘッドの周りはたいへん熱くなっているので、触らないでください。
写真やイラストなどが多く入っている原稿や文書を印刷している	データ処理に時間がかかり、止まったように見えます。処理が終わるまでお待ちください。印刷する部分が多い原稿や文書の印刷、または 2 部以上の印刷を行うと、インクを乾かす時間をとるために印刷が止まることがあります。

◆用紙が汚れる／印刷面がこすれる／用紙がうまく送られない

原因	対処方法
本機の内部が汚れている	本機の内部にインクが付いて、用紙が汚れる場合があります。以下の手順にしたがって本機の内部を清掃してください。 ① 本機の［電源］を押して電源を入れ、オートシートフィーダから用紙を取り除く ➔ P.10 ② A4 の用紙を横半分に折って開き、開いた面が表になるように、オートシートフィーダに 1 枚だけセットする ③ メンテナンス画面を表示させる ➔ P.74 ④ ［▲］か［▼］で〈インク拭き取り〉を選び、［OK］を押す ⑤ ［▲］か［▼］で〈はい〉を選び、［OK］を押す 用紙が給紙され、排紙されます。 効果がみられないときは、本機内部の突起が汚れている場合があります。綿棒などを使ってインク汚れを丁寧に拭きとってください。 重要 ● このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。(➔ P.68) 印字結果不具合などの原因となります。 ● 清掃する際は、本機の電源を切ってください。

困ったときには

給紙ローラが汚れている	次の手順で給紙ローラを清掃してください。給紙ローラの掃除は給紙ローラを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。 ① 本機の［電源］を押して電源を入れ、オートシートフィーダから用紙を取り除く ➔ P.10 ② メンテナンス画面を表示させる ➔ P.74 ③ ［▲］か［▼］で〈ローラクリーニング〉を選び、［OK］を押す ④ ［▲］か［▼］で〈はい〉を選び、［OK］を押す 給紙ローラがクリーニングを開始します。 ⑤ ②〜④の動作を、2 回繰り返す ⑥ 排紙トレイを開く ⑦ オートシートフィーダに A4 またはレターサイズの用紙を 3 枚以上、セットする ⑧ ②〜④の動作を 3 回繰り返す 用紙が給紙され、排紙されます。 3 回以上行っても改善がみられない場合は、お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。

適切な用紙を使用していない	● 厚い用紙を使用していないか確認してください。➔「使用できない用紙について」（P.14） ● フチなし全面印刷を行っている場合は、用紙の上端および下端の印刷品位が低下する場合があります。お使いの用紙が、フチなし全面印刷のできる用紙か確認してください。

反りのある用紙を使用している	四隅や印刷面全体に反りのある用紙を使用した場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりする恐れがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。 ① 印刷面を上にし、表面が傷つくことを防ぐために、印刷しない普通紙などを 1 枚重ねる ② 下の図のように反りと逆方向に丸める 印刷面 ③ 印刷する用紙が、約2〜5mm以内で反りが直っていることを確認する 印刷面 約 2 〜 5mm 反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

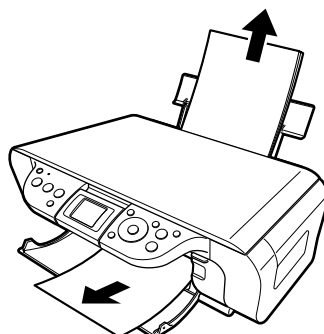
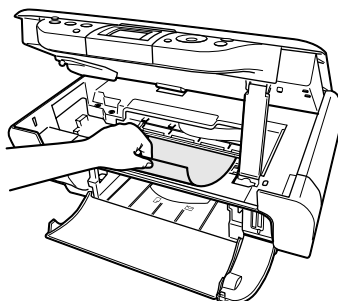
紙間選択レバーが適切でない	紙間選択レバーを印刷する用紙に合わせてセットしてください。➔ P.6 左にセットする用紙でも、印刷内容によっては印刷面がこすれることがあります。この場合は、紙間選択レバーを右にセットしてください。 ＊印刷後は、紙間選択レバーを左に戻してください。

用紙がカールする／インクがにじむ

薄い用紙を使用している	写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷をするときは、プロフェッショナルフォトペーパーなどの写真専用紙に印刷することをお勧めします。➔ P.14

操作パネルで正しい用紙が選ばれていない	操作パネルで選ばれている用紙の種類が、セットする用紙の種類と合っているか確認してください。

◆用紙がつまった

原因	対処方法
排紙口／オートシートフィーダで用紙がつまった	次の手順にしたがって用紙を取り除きます。 ① **排紙側または給紙側の引き出しやすいほうから用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く** ● 用紙が破れて本機内部に残った場合は、スキャナユニット（プリンタカバー）を開けて取り除いてください。 重要 このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。 印字結果不具合などの原因となります。 用紙を取り除いたら、スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じた後に［電源］を押して電源を切り、再度電源を入れ直してください。 ● 用紙が引き抜けない場合は、［電源］を押して電源を切り、再度電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されます。 ② **用紙をセットし直し、本機の［OK］を押す** ● 手順①で電源を入れ直した場合、本機に送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。 **用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。**

横向きにセットした名刺サイズ用紙、カードサイズ用紙が、本機内部でつまった	名刺サイズ用紙、カードサイズ用紙は横向きにセットできません。 次の手順にしたがってつまった用紙を取り除きます。 ① 同じ用紙を 1 枚、オートシートフィーダに縦向きにセットする 横向きにはセットしないでください。 ② ［電源］を押して電源を切る ③ ［電源］を押して電源を入れる 用紙が給紙され、詰まった用紙を押し出しながら排紙されます。 用紙が引き抜けない場合や、取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。

◆フォトナビシートからうまく印刷できない

原因	対処方法
〈フォトナビシートの読み取りに失敗しました〉と表示される	フォトナビシートにチェックマークもれがないか、または原稿台ガラスに置く向きや位置を確認してください。➔ P.44

◆デジタルカメラからうまく印刷できない

デジタルカメラやデジタルビデオカメラ * から直接印刷を行ったときに、カメラにエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は以下のとおりです。

* 以降、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラを総称して、カメラと記載します。

- 本機と接続して直接印刷できるのは、PictBridge 対応または、キヤノン Bubble Jet Direct 対応のカメラです。
- 以下の説明は、キヤノン製 PictBridge 対応または、キヤノン Bubble Jet Direct 対応のカメラに表示されるエラーについて説明しています。ご使用のカメラにより表示されるエラーやボタン操作が異なる場合があります。キヤノン製以外の PictBridge 対応カメラを使用して、カメラからプリンタエラーの解除方法がわからない場合は、本機の液晶モニターに表示されているメッセージを確認してエラーを解除してください。本機のエラー解除方法は、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.85）を参照してください。
- 接続した状態での操作時間が長過ぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できない場合があります。そのときは、カメラから一度接続ケーブルを抜いて、再度ケーブルを接続してください。ケーブルを接続しただけでは、自動で電源が入らないカメラをお使いの場合は、手動で電源を入れてください。それでも改善されない場合は、他の写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。
- ご使用の PictBridge 対応機器により、接続する前に印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。
  ご使用の機器に付属の使用説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。
- 印刷にかすれやむらがあるときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.73）を参照して対処してください。
- 印刷時に用紙がカールしたり、印刷面がこすれたりした場合は、適切な用紙に印刷しているか確認してください。
- 表示されるエラーや対処方法については、カメラに付属の使用説明書もあわせて参照してください。その他、カメラ側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

カメラ側エラー表示	対処方法
プリンターは使用中です／プリンターは準備中です	パソコンなどから印刷しています。 印刷が終了するまでお待ちください。 または、準備動作を行っている場合は、終了するまでお待ちください。
用紙（ペーパー）がありません／用紙（ペーパー）エラー	本機に用紙をセットし、本機の［OK］を押してください。 また、排紙トレイが閉じている場合は、開けてください。印刷を再開します。

用紙（ペーパー）が詰まりました	カメラのエラー画面で［中止］を選び、印刷を中止してください。 用紙を取り除き、用紙をセットし直してから本機の［OK］を押し、再度印刷を行ってください。
紙間レバー位置が不正です	紙間選択レバーを左にセットします。 普通紙に印刷しても､印刷面がこすれる場合は､紙間選択レバーを右にセットします。 印刷後は、紙間選択レバーは左にセットしておきます。
プリンターカバーが開いています	本機のスキャナユニット（プリンタカバー）を閉じてください。
プリントヘッド未装着	FINE カートリッジが装着されていないか、FINE カートリッジの不良です。『かんたんスタートガイド』の説明にしたがって FINE カートリッジを取り付けてください。 FINE カートリッジが取り付けられている場合は、FINE カートリッジを取り外し、取り付け直してください。 それでもエラーが解決されない場合は、FINE カートリッジが故障している可能性があります。お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。
廃インクタンク（廃インク吸収体）が満杯です	廃インク吸収体が満杯になりそうです。 本機は、クリーニング操作などにより、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、カメラのエラー画面で［続行］* を選ぶと、印刷を再開します。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると、廃インク吸収体を交換するまで印刷できなくなります。お早めにお買い求めの販売店または修理受付窓口に本機の点検をご依頼ください（部品の交換が必要です）。
インクが残りわずかです	インク残量が少なくなっています。新しい FINE カートリッジをご用意ください。カメラのエラー画面で［続行］* を選ぶと、印刷を再開します。
インクがありません	インクがなくなりました。 FINE カートリッジを交換して、スキャナユニット（プリンタカバー）を閉じてください。 交換後、罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.79）を参照して、ヘッド位置調整を行ってください。本機がパソコンに接続されている場合はプリンタドライバを使用してヘッド位置調整を行うこともできます。 ➔『印刷設定ガイド』の「プリントヘッド位置を調整する」 印刷が完了していない場合は、FINE カートリッジを取り付けたまま本機の［OK］を押すと、インク切れの状態で印刷を続行することができます。印刷が終了したらすぐに新しい FINE カートリッジに交換してください。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となる場合があります。
インクエラー／インクがありません	使用されたことのある FINE カートリッジを取り付けた、または、インクがなくなっている可能性があります。 インク残量を正しく検知できないため、インク残量検知機能は使用できなくなります。この機能を無効にし、FINE カートリッジを継続して使用する場合は、本機の [OK] を押してください。 優れた印刷結果を得るために、新しいキヤノン純正カートリッジへの交換をお勧めします。
ハードウェアエラー／インクがありません	FINE カートリッジにエラーが発生しました。 FINE カートリッジを交換してください。➔ P.66

* ［続行］を選ぶ代わりに、本機の［OK］を押しても有効です。

プリンタートラブル発生	サービスが必要なエラーが起こっている可能性があります。 デジタルカメラと接続されているケーブルを抜いてから本機の電源を切り、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。しばらくしてから本機の電源を入れ直し、デジタルカメラを接続してみてください。それでも回復しない場合は、お買い求めの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。

◆ワイヤレス通信で印刷できない

ここでは携帯電話から赤外線通信を利用して印刷するときのトラブルについて説明します。Bluetooth 通信で印刷するときのトラブルについては、『Bluetooth ユーザーズガイド』を参照してください。

原因	対処方法
本機の設置場所が正しくない	赤外線通信で印刷する場合は、本機と携帯電話の赤外線通信ポートが、正しい角度、距離で向き合うように置いてあるか、あいだを遮るものがないか確認してから、印刷をやり直してください。通信できる距離や角度は携帯電話の機能、外部環境により異なります。携帯電話との距離が 20cm 以内で、通信が良好に行える位置に設置してください。
赤外線通信を行っているときに赤外線を遮ったり、近くで他の赤外線通信機器が使われている	赤外線通信で印刷しているときに、本機との赤外線通信ポートのあいだを 10 数秒以上遮ると、印刷中の用紙は排出され、本機はリセットされます。障害になっているものを取り除き、印刷をやり直してください。 また、近くで赤外線通信機器を動作させると混信して印刷が最後まで行われないことがあります。赤外線通信で印刷するときは、付近でテレビのリモコンなどのほかの赤外線通信機能を動作させないでください。
IrDA のバージョンが合っていない赤外線通信ポートを使用している	本機の赤外線通信機能は、携帯電話が IrDA に準拠した赤外線通信ポートを備えた機種のみに対応しています。そのほかの携帯電話では、赤外線通信での印刷はできません。

役立つ情報

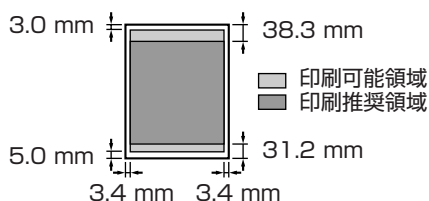
印刷できる範囲

印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。フチなし全面印刷 * を設定すると、余白のない印刷が可能になります。

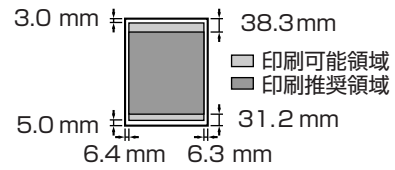
* 用紙サイズが A4、L 判、2L 判、六切、はがき、パノラマ、名刺サイズ、カードサイズのときのみ設定できます。また、コピーをする場合、〈各設定〉の〈コピーフチはみ出し量〉で、フチなしコピーをするときのはみ出し量を設定することができます。

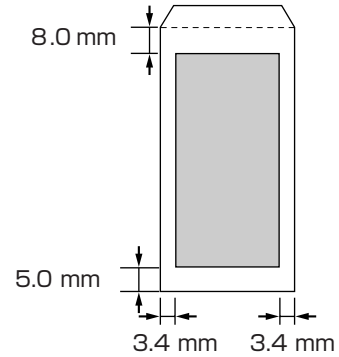
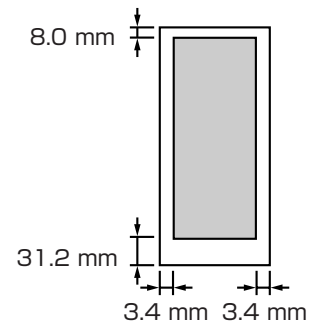
- 両面印刷では、用紙の上辺の印刷可能領域が通常より 2mm 分狭くなります。
- 印刷可能領域に印刷した場合、印刷の品位または用紙送りの精度が低下することがあります。

■ A5、A4、B5、L 判、2L 判、六切、はがき、往復はがき、パノラマ、名刺サイズ、カードサイズ

サイズ	印刷可能領域（幅×長さ）
A5	141.2 × 202.0 mm
A4	203.2 × 289.0 mm
B5	175.2 × 249.0 mm
L 判	82.2 × 119.0 mm
2L 判	120.2 × 170.0 mm
六切	196.4 × 246.0 mm
はがき	93.2 × 140.0 mm
往復はがき	193.2 × 140.0 mm
パノラマ	82.2 × 246.0 mm
名刺	48.2 × 83.0 mm
カード	47.2 × 78.0 mm

- PictBridge 対応機器を接続して印刷する場合は、A4、8.9 × 25.4 cm（パノラマ）、L 判、2L 判、六切、はがき、カードサイズの用紙を使用することができます。
- キヤノン Bubble Jet Direct に対応したデジタルカメラを接続して印刷する場合は、A4、L 判、2L 判、はがき、カードサイズの用紙を使用することができます。

■ Letter、Legal

サイズ	印刷可能領域（幅×長さ）
Letter	203.2 × 271.4 mm
Legal	203.2 × 347.6 mm

■ 封筒

サイズ	印刷可能領域（幅×長さ）
洋形４号	98.2 × 205.5 mm
洋形６号	91.2 × 160.5 mm
長形３号	113.2 × 225.0 mm
長形４号	83.2 × 195.0 mm

本機の移送について

引越しなどで本機を別の場所に移送するときは、購入時に本機が入っていた箱や保護材を使用して梱包してください。

他の箱を使用するときは、丈夫な箱に保護材を十分に詰め、本機が安全に移送されるようにしっかりと梱包してください。

注意

梱包後は、箱を傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。

FINE カートリッジは装着したまま梱包してください。

運送業者に輸送を依頼するときは、箱の上部に「精密機器」と明記してください。

This product uses the following copyrighted software:

exit.c

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

environ.c

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed at Cygnus Support, Inc. Cygnus Support, Inc. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

impure.c
string.h
_ansi.h

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed at Cygnus Solutions. Cygnus Solutions may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

メモリーカードの写真をきれいに印刷しよう

印刷設定を変更して、写真をよりきれいに印刷してみましょう。印刷設定の変更のしかたについては本書21ページをご覧ください。

海や空、草原などの風景写真をより鮮やかに印刷したいときは

VIVIDフォト OFF *　→　VIVIDフォト ON

逆光などで写真が暗くなったときは

顔明るく補正 OFF *　→　顔明るく補正 ON

写真が暗すぎたり、明るすぎたりしたときは

APP OFF　→　APP ON *

輪郭のギザギザをなめらかにして印刷したいときは

携帯画像補正 OFF *　→　携帯画像補正 ON

空などの青い部分や、暗い部分にノイズが多いときは

ノイズ除去 OFF *　→　ノイズ除去 ON

* 初期設定

写真に合わせて明るさやコントラスト、色合いを調整してみましょう！

明るさ

明るさ −2

暗く

明るさ 標準

明るく

明るさ +2

コントラスト

コントラスト −2

弱く

コントラスト 標準

強く

コントラスト +2

色合い

肌色 赤+2

赤色強く

色合い調整なし

黄色強く

肌色 黄+2

●キヤノンPIXUSホームページ　canon.jp/pixus

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●お客様相談センター

PIXUS･インクジェット複合機に関するご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

お客様相談センター（全国共通電話番号）

050-555-90012

【受付時間】〈平日〉9:00〜20:00、〈土日祝日〉10:00〜17:00（1/1〜1/3を除く）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9631をご利用ください。
※ＩＰ電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本機で使用できるFINEカートリッジ番号は、以下のものです。

※FINEカートリッジの交換については、66ページをお読みください。

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

再生紙を使用しています。

QT7-0032-V07

PRINTED IN VIETNAM